



7.0型ワイドTV付DVDカーコンピューターセット

AVIC-D710

取扱説明書

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
なお、取扱説明書は、保証書（お客様登録手続き完了後に弊社から郵送にてお届けいたします。）と一緒に必ず保管してください。
接続と取り付けは、別冊の取付説明書をご覧ください。

carrozzeria
by **PIONEER**

目次 6 ページ
3Dハイブリッド
センサーのリセット
24 ページ

安全のために必ずお守りください

絵表示について

取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止(やってはいけないこと)の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

警告

[使用方法]

運転中に操作をしない



禁止

ナビゲーションのルート設定や画質の調節を行うときは、画面を長く見る必要があります。自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。

走行中にテレビやビデオを見ない



禁止

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり交通事故の原因となります。

[異常時の処置]

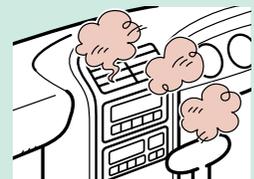
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

説明書の構成について

本機には、4種類の説明書が同梱されています。必要に応じて使い分けてください。

取り付けかたや接続のしかたが知りたいときは

取付説明書



本機やテレビの取り付けおよび接続、取り付け後に行う操作について説明しています。

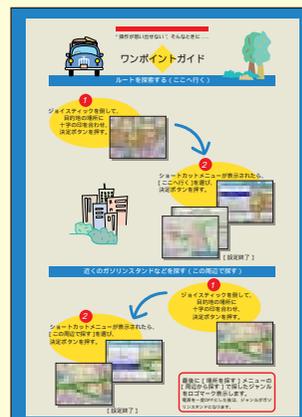
本機の基本的な使い方が知りたいときは

取扱説明書（本書）



ディスクのセット、ナビゲーションのふだんの操作、テレビの見かたなどの基本的な使い方について説明しています。

ワンポイントガイド



ふだんよく使うナビゲーションの機能をピックアップしてまとめています。

ナビゲーションの操作を詳しく知りたいときは

使い方辞典-リモコン操作編



メニューを使って操作するナビゲーションの機能を説明しています。

説明書で使っている画面例は、実際の画面と異なることがあります。
実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

目次

はじめに

主な特長	8
上手にお使いいただくために	10
リモコンの準備	12
各部のなまえと主な働き	13
リモコンの操作モード	
切り換えスイッチについて	16

準備

ディスクをセットして電源を入れる	18
音楽CDやオーバレイディスクを セットする	20
映像を切り換える	22
カーナビゲーションを使い始める前に	24

初めてお使いになるときは、この項を参照して、必ず3Dハイブリッドセンサーのリセットを行ってください。3Dハイブリッドセンサーのリセットを行わないと、ナビゲーションの誤差が大きくなる場合があります。

ナビゲーションを使う

ナビゲーションのふだんの操作	28
現在地を確認する	
地図を動かす	
地図表示の見かた	30
地図の縮尺を変える	31
地図の表示方法を変える	32
地図の向きを左右に回転したり 見る角度を変える	34
高速道路の施設情報を見る	36
メニューの基本的な操作	38
メニュー画面で操作できる機能	40
ルート設定とルート案内について	41
行き先を決める	42
ルート案内を始める	44
ルートインフォメーションを表示する	46
音声による誘導・案内	48
ルートの道順を確認する	50
目前の渋滞を迂回する	51
自宅がある場所を登録する	52
自宅へ戻るルートを探す	54

テレビを見る

テレビのふだんの操作	56
チャンネルを選ぶ	
記憶されていないチャンネルを見る	58
2ヵ国語放送およびステレオ放送の 音声切り換え	60

音楽CDを聞く

音楽CDのふだんの操作	62
ディスクを選ぶ	
曲を選ぶ	
タイトルを見て聞きたいCDを探す	64

C O N T E N T S

すぐ使えます
ここだけ読めば

TV モニターの設定と調整

ワイド画面の拡大のしかたを変える	66
2画面で見る	68
2画面モードで操作する画面を選ぶ	70
2画面モードで映像の縮小のしかたを変える	71
子画面の位置を変える	72
子画面の大きさを変える	73
液晶画面の明るさを自動で調整する	74
液晶画面の明るさを手動で調整する	76
映像の明るさや色などを調整する	78
内蔵スピーカーの音声を選ぶ	80
音声をFM電波で飛ばす	82
FMトランスミッターの レベルを調整する	83
音質を調整する	84
ナビゲーションの映像のときの 音声を選ぶ	86
ナビゲーションの映像の位置を 調整する	87
ビデオの映像を表示可能にする	88
ビデオの映像を見る	90
本機の映像をリアーモニターに 表示する	91

すぐに本機を使いたいときは、このマークの付いたページをお読みください。

はじめに

準備

ナビゲーションを使う

テレビを見る

音楽CDを聞く

TV モニターの設定と調整

付録

付録

現在地がわかる仕組み	92
測位の精度を高めるために	93
誤差について	96
VICSについて	98
ディスクの正しい使いかた	100
TVモニターの正しい使いかた	102
ナビゲーション本体の リセットについて	103
保証書発行兼お客様登録カードと アフターサービス	104
ナビゲーション用語の解説	106
仕様	108
索引	110

ナビゲーション用語でわからない言葉があるときは、「ナビゲーション用語の解説」をお読みください。

メモ

この説明書の中の画面は一例です。実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

主な特長

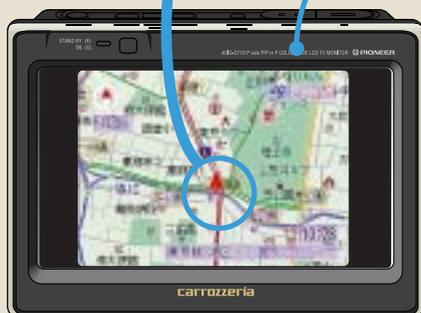
自分の車の現在地がわかります



「自分が今どこにいるのか？」を調べることを測位といいます。本機は、GPSと自律航法により自分の車の現在地を測位して、地図上に自車マークを表示します。(👉 28ページ)

自車マーク：自分の車の現在地と進行方向がわかります。

7.0型ワイド液晶TVモニター



内蔵の3Dハイブリッドセンサーで、立体交差や坂道でも精度よく測位します。

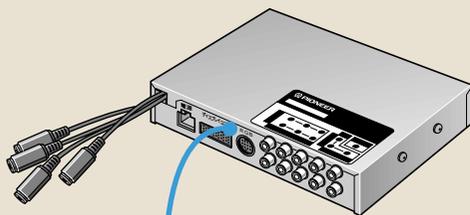
走った距離や曲がる方向に加え、坂道の上下(傾斜)も検出しているため、立体交差や上下に高速道路と一般道路が重なっている場所でも、精度よく測位することができます。



ナビゲーション本体

マップマッチング機能やD-GPSで、さらに精度がアップします

マップマッチングやD-GPSの採用により、自車マークが地図上に精度よく表示されます。



TVチューナー

VICS (道路交通情報通信システム) の情報を受信できます

FM多重放送によるVICS情報を受信でき、渋滞情報などを地図上に表示できます。

ナビゲーションでは、こんなことができます

ルート探索

最終的な行き先となる場所を設定するだけで、現在地から目的地近傍までのルート(道順)を自動的に設定してくれます。(👉 42ページ)



目的地

到着

目的地に近付きました。

ルートの道塗り

設定したルートは、一般道が明るい緑色で、高速道路が明るい青色で表示されます。(👉 44ページ)



交差点の拡大図

曲がる交差点が近づくると拡大図が表示されます。入り組んだ交差点でも進む方向が一目でわかります。(👉 44ページ)

出発

およそ 800 m 先
右方向です。

音声案内

ルートに沿って走行すると、進む方向などを音声で案内してくれます。(👉 48ページ)
また、危険な箇所では注意ポイント案内が、ドライブ開始から2時間経つと、休憩を促すリフレッシュ案内が流れます。

オートリルート/ リアルタイムリルート

ちょっとした寄り道などでルートを外れてしまったり、渋滞や時刻規制などで交通状況が変化すると、それに応じて自動的にルートが修正されます。

注：ここで紹介した機能は、ルートに関するごく一部の機能です。ナビゲーションの機能について詳しくは、『使い方辞典-リモコン操作編』をご覧ください。

ルート設定およびルート案内では、

最終的な行き先を目的地といいます。

ナビゲーションが自動で設定した、ルートの途中で目印となるポイントを案内地点といいます。

目的地までの道のりをルートといいます。

ルート探索時に立寄地指定で設定したポイントを立寄地といいます。

上手にお使いいただくために

お使いになる地図ディスクについて

ナビゲーションをするには、付属のナビゲーション用DVD-ROMディスクをお使いください。「スーパーエリアマップシリーズ」や「ロードナビゲーターシリーズ」など、CD-ROMタイプのナビゲーションシステム用地図ディスクは使用できません。

オーバーレイディスクプレーヤー「CDX-R101」(別売)にオーバーレイディスク(別売)をセットすると、地図に情報を追加したり、好みの仕様にカスタマイズするなど、DVDナビゲーションに機能を追加することができます。

安全走行のために

本機は、パーキングブレーキのON/OFFを検知しており、走行中には操作できない機能があります。(操作すると「走行中は操作できません」と表示されます。)また、走行中にテレビやビデオの映像を見ることはできません。(黒一色の画面になります。)

このような場合は、安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてください。

VICS情報を受信する設定にした場合は、VICSの規定により走行中は5.5m未満の細街路は表示しない仕様になっています。

昼間と夜間の色の違いについて

夜間、周囲が暗くなったとき画面がまぶしくならないように、日没の時刻になると、表示画面が昼画面から夜画面に切り換わります。(映像が暗い配色になります。)

表示画面の切り換えを車のライトのON/OFFと連動させたり、常に昼画面にしておくこともできます。(『使い方辞典 - リモコン操作編』133ページ)

また、周囲の明るさに合わせて、液晶画面の明るさが自動的に調整されます。

例：地図を表示しているときの画面



昼画面

夜画面

本書では、昼画面の色を例にして説明しています。したがって、夜画面のときは、説明の色と実際の色が異なる場合があります。

バッテリー上がりを防ぐために

車のエンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。

必ず、映像の黒レベルを調整してください

TV モニターの液晶画面は、その構造上きれいに見える角度が限られていますが、その左右方向の角度は映像の黒レベルを調整することで変えることができます。初めてお使いになるときは、画面がきれいに見えるように、見る角度に合わせて映像の黒レベルを調整してください。( 78ページ)

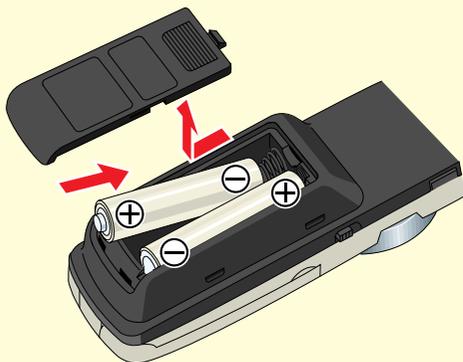
TV モニターの液晶画面を保護するために

TV モニターに直射日光が当たる状態で長時間放置しておくと、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。本機を使用していないときは、TV モニターに直射日光が当たらないようにしてください。(その他、気を付けていただきたいこと  102ページ)

リモコンの準備

リモコンに電池を入れる

裏ボタンを外して、単4形アルカリ乾電池 (LR03) 2本をセットします。



電池を交換したときに、SOURCE ボタン (DDM/WIDE MODE の設定 (☞ 16 ページ) と VOL ツマミ (カーステレオ/DSP の設定 (☞ 17 ページ) の動きが変わってしまう場合があります。電池を交換したときは、確認のうえ、ご使用ください。

取り扱い上のご注意

リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障することがあります。使用しないときは、グローブボックスなど直射日光の当たらないところに保管してください。

リモコン受光部に直射日光が当たっていると、リモコンの操作ができないことがあります。

乾電池は充電できません。

リモコンを長い間使わないときは、電池を取り出してください。取り出した電池は幼児の手の届かないところに保管してください。

電池の液もれが起こったときは、内部に付着した液をよく拭き取ってから、新しい電池と入れ換えてください。

リモコンの操作範囲が狭くなってきたときは、新しい電池と交換してください。

リモコンの電池を交換するときは、電池寿命の点から、アルカリ電池を使用することをおすすめします。

各部のなまえと主な働き



リモコン

- 1 リモコン送信部
ここをTVモニターのリモコン受光部（☞ 15ページ）に向けて操作します。
- 2 現在地ボタン
地図上に自分の車の現在地を表示します。
- 3 マルチビューコントローラー
（☞ 32、34ページ）
- 4 電源ボタン
ナビゲーションとTVモニターの電源を入/切します。（ナビゲーションの映像になっていないと、電源を切ることはできません。）
- 5 ジョイスティック/決定ボタン
地図を動かす（スクロール）ときやメニューを操作するときに使います。



8方向（上下・左右・斜め）に動かすとジョイスティックになります。



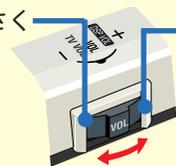
まっすぐ押すと決定ボタンになります。

- 6 操作モード切り換えスイッチ（☞ 16ページ）

- 7 案内ボタン
ナビゲーションの音声案内をもう一度聞きたいときに押します。
- 8 リルートボタン（☞ 45、54ページ）
- 9 SOURCEボタン（☞ 62、66、68ページ）
- 10 メニューボタン（☞ 38ページ）

- 11 ^{ボリューム}VOLツマミ
付属のTVモニターやメインユニット（「DEH-P707」など）の音量を調整します。手前に動かすと、音量が小さくなります。逆側に動かすと、音量が大きくなります。

音量が小さくなる 音量が大きくなる

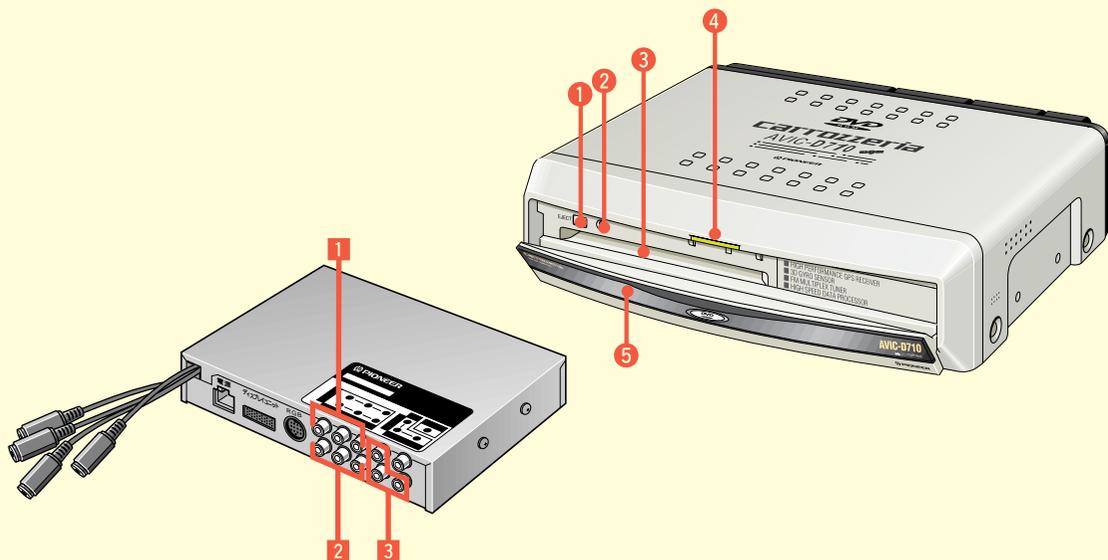


- 12 広域ボタン/詳細ボタン（☞ 31ページ）
- 13 戻るボタン（☞ 39ページ）
- 14 迂回ボタン（☞ 51ページ）
- 15 / /◀▶ ボタン
- 16 10キー

ナビゲーションの電話番号検索や携帯電話のダイヤル時に、リモコンカバーを開いて電話番号を入力します。入力のしかたは通常の電話と同じです。

各部のなまえと主な働き

(つづき)



TV チューナー

- 1 ビデオ入力 1 (☞ 88 ページ)
8mm ビデオやポータブルビデオを接続することができます。
- 2 ビデオ入力 2 (☞ 89 ページ)
オーバーレイディスクプレーヤー「CDX-R101」の音声出力 (To TV) を接続したり、将来の外部入力用にお使いください。
- 3 リアモニター出力 (☞ 91 ページ)
リアモニター (後部座席専用モニター) を接続することができます。

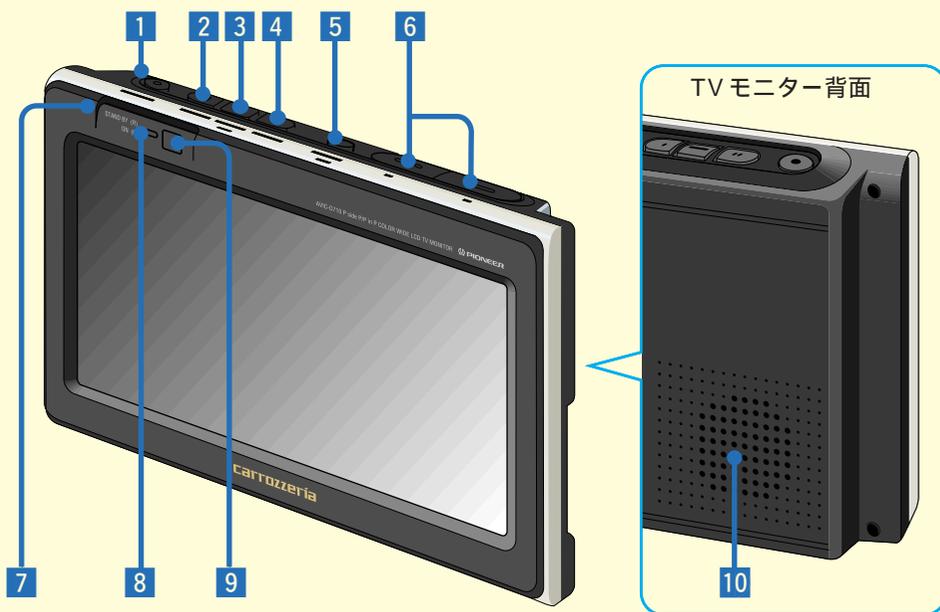
この端子に接続したモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができる位置には、絶対に設置しないでください。

ナビゲーション本体

- 1 ディスク取り出しボタン (☞ 19 ページ)
- 2 リセットボタン (☞ 103 ページ)
- 3 ディスク挿入口 (☞ 18 ページ)
- 4 インジケーター (☞ 19 ページ)
- 5 フロントドア



ボタンを押し、指を離すと、フロントドアが開きます。



TV モニター

- 1 スピーカーセレクト
S P SELECT ボタン (☞ 80ページ)
- 2 ビデオチェンジ
VIDEO CHANGE ボタン (☞ 22, 56, 68ページ)
- 3 ダブルディスプレイモード
DDM ボタン (☞ 68ページ)
- 4 ワイドモード
WIDE MODE ボタン (☞ 66, 71, 72ページ)
- 5 アジャストメニュー
ADJUST MENU ボタン
- 6 ダウン アップ
DOWN ボタン/UP ボタン (☞ 57ページ)
- 7 リモコン受光部
リモコンをここにに向けて操作します。
- 8 電源ランプ
電源を入れると緑色に点灯し、電源を切ると赤く点灯します。
- 9 外光センサー
周囲の明るさを感知します。本機は周囲の明るさに合わせて、自動的に液晶画面の明るさを調整します。
- 10 スピーカー (☞ 80ページ)
ナビゲーションの音声案内や、ボタンを押したときの“ピッ”という操作音がなります。テレビの音声も出力されます。

リモコンの操作モード切り換えスイ

本機に付属のリモコンは、ナビゲーションやテレビの操作はもちろん、パイオニア製カーステレオの音量を調整することもできます。

操作するときは

リモコンの左側面には、操作モード切り換えスイッチがあります。このスイッチの位置により、操作できる機能が変わります。スイッチの位置を確認して操作を行ってください。組み合わせるカーステレオによっては操作できない場合があります。

リモコン受光部は、TVモニターやカーステレオに内蔵されています。リモコンはTVモニターやカーステレオに向けて操作してください。

操作モード切り換えスイッチをTV側にしたときは、SOURCE ボタンの機能を切り換えて使用します。(下記を参照してください。)

操作モード切り換えスイッチをTV側にしたときの操作



TV側に切り換えたときは、テレビの操作を行うことができます。



ボリューム
VOL ツマミ(56ページ)
TVモニター内蔵スピーカーの音量を調整できます。

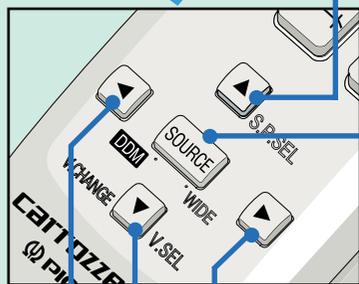


ボタン(80ページ)
TVモニター上面のSP SELECTボタンと同じ働きをします。(内蔵スピーカーから出力される音声を選ぶことができます。)

SOURCE ボタン(66、68ページ)
TVモニター上面のDDMボタンまたはWIDE MODEボタンと同じ働きをします。

電源ボタンを押したままSOURCEボタンを押して、SOURCEボタンがDDMボタンとして働くように切り換えます。(もう一度同じ操作をすると、SOURCEボタンはWIDE MODEボタンとして働くようになります。)

リモコン裏面の早見表も参照してください。



ボタン(22ページ)
TVモニター上面のVIDEO CHANGEボタンと同じ働きをします。(見たい映像に切り換えることができます。)

◀/▶ ボタン(57ページ)
TVモニターのチャンネルを切り換えることができます。

操作モード切り換えスイッチを AUDIO側にしたときの操作

TV  AUDIO

AUDIO側に
切り換えて
操作します。



AUDIO側に切り換えたときは、カーステレオの音量を調整したり、別売のオーバーレイディスクプレーヤー「CDX-R101」の音楽CDの音声を出力することができます。

ボリューム
VOLツマミ

カーステレオの音量を調整できます。



カーステレオにハイダウエイ-DSP以外のDSP
（「DEQ-700」など）を接続したときは

電源ボタンを押したままVOLツマミを+/-どちらかに倒して、VOLツマミがDSPに働くように切り換えます。（もう一度同じ操作をすると、VOLツマミはカーステレオに働くようになります。）

リモコン裏面の早見表も参照してください。

ソース
SOURCEボタン ( 62ページ)

別売のオーバーレイディスクプレーヤー「CDX-R101」の音楽CDの音声を出力することができます。

ディスクをセットして電源を入れる

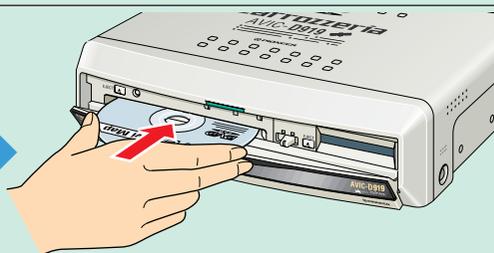
1 車のエンジンをかける



2 ディスクのタイトル面を上にして、ディスク挿入口に差し込む



このボタンを押して、指を離すと、フロントドアが開きます。



ディスクを入れたら、必ずフロントドアを閉じてください。

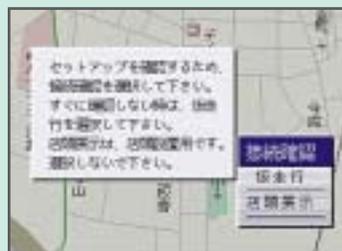


自動的にディスクがセットされ、最初にオープニング画面が表示されます。(ナビゲーションの準備をしています。)

地図が表示されます。(初めてお使いになるときは、この画面が表示されます。24ページからの説明を参照して、3Dハイブリッドセンサーのリセットを行ってください。)



しばらくすると



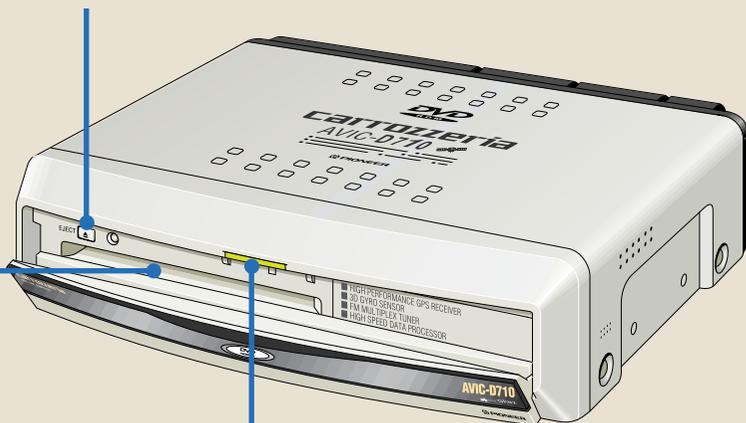
電源を OFF にするときは

リモコンの電源ボタンを押してTVモニターとナビゲーション本体の電源をOFFにします。このとき、セットしたディスクは取り出す必要はありません。

もう一度電源ボタンを押すと、再び電源が入ります。

(電源ボタンはナビゲーションの映像になっていないと働きません。テレビやビデオの映像になっているときは、ナビゲーションの映像に切り換えてから ( 22ページ) 電源ボタンを押して電源をOFFにしてください。)

ディスク取り出しボタン



インジケーター

ディスクをセットしてナビゲーションが動作し始めるか、車のライトをONにすると、黄色に点灯します。

準備

メモ

本機では、付属のDVDナビゲーション専用ディスクのみが使えます。

セットしたディスクは通常取り出す必要はありません。ディスクを交換する必要があるときは、ディスク取り出しボタンを押してディスクを取り出します。

取り出したディスクは、ケースに保管してください。ディスク挿入後に、プログラムバージョンアップという画面が出る場合があります。その場合は画面の指示に従い操作してください。(その間、本体の電源を切らないよう、ご注意ください。)

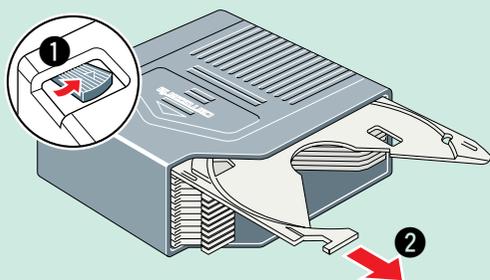
音楽CD やオーバーレイディスクを

オーバーレイディスクプレーヤー「CDX-R101」(別売)をお使いの場合には、あらかじめ音楽CDやオーバーレイディスク(別売)をセットしておきます。

1 マガジンにディスクを入れる

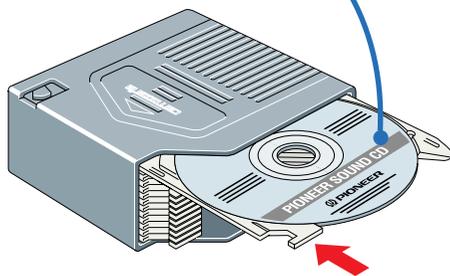
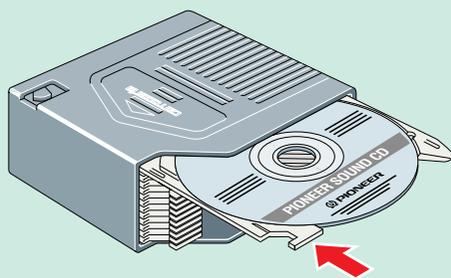
トレイの取り出しかた

マガジンのロックボタンを押しながら、トレイを引き出します。



ディスクのセットのかた

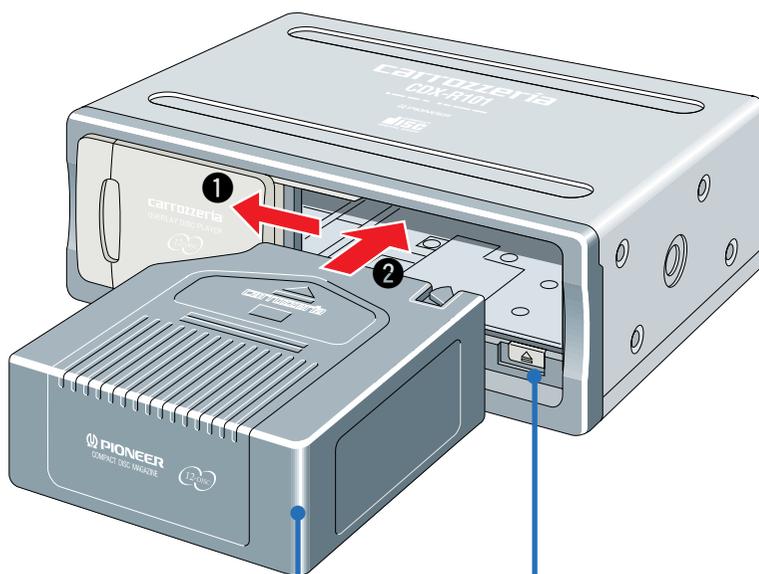
タイトル面を上にしてトレイに置き、カチッと音がするまでトレイを押し込みます。



メモ

トレイを戻したときは、ロックがかかったことを確認してください。ロックしないまま使用すると、故障の原因になります。

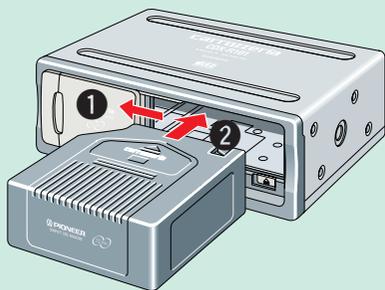
セットする



準備

2 マガジンを セットする

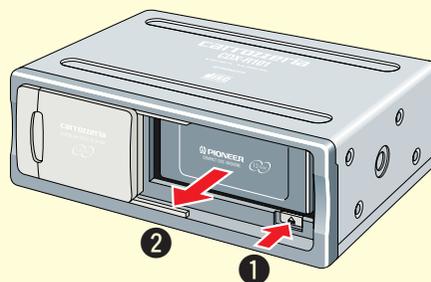
“カチッ”とロックするまでドアを開けてから、マガジンを押し込みます。



マガジンを入れたら、必ずドアを閉めてください。

マガジンの取り出しかた

“カチッ”とロックするまでドアを開けてから、マガジン取り出しボタンを押します。



マガジンを取り出し、ドアを閉めてください。

映像を切り換える

ナビゲーションの映像とテレビの映像を、ワンタッチで切り換えることができます。

ナビゲーションとテレビの映像を切り換える



押すごとに映像が切り換わります。TVモニター上面のVIDEO CHANGEボタンを押しても切り換わります。

ナビゲーションの映像



テレビの映像



ナビゲーションの操作をするときは、続いて「カーナビゲーションを使い始める前に」(24ページ)をお読みください。
(テレビの操作のしかたは 56ページ)

メモ

[ビデオモード設定]の[ビデオ1設定]または[ビデオ2設定]を[ビデオ設定]に切り換えているときは、テレビの映像の次に、ビデオの映像に切り換わります。(88ページ)

ナビゲーションの映像になっていないと、ナビゲーション本体とTVモニターの電源を切ることはできません。

走行中にテレビやビデオの映像を見ることはできません。(黒一色の画面になります。)このような場合には、安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけると、テレビやビデオの映像を見ることができるようになります。

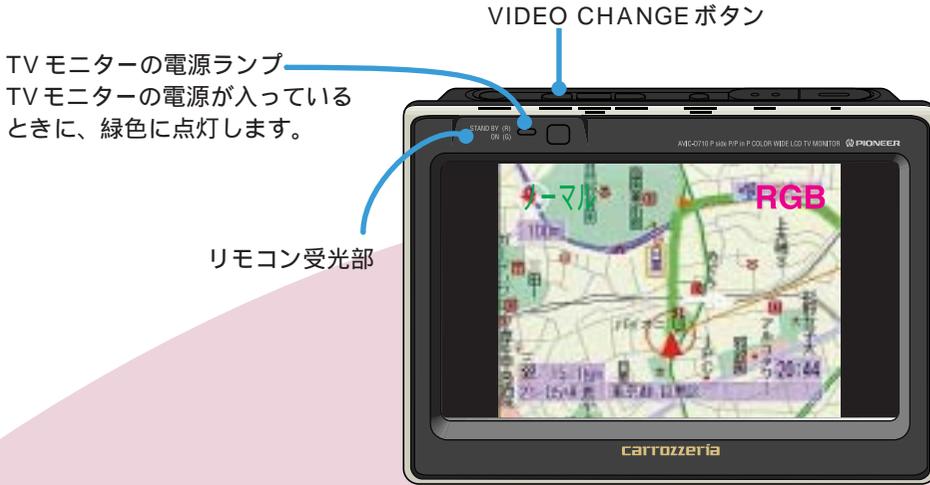
メモ

ナビゲーションやテレビの映像を、16:9のワイドモードで表示することができます。(66ページ)

本説明書では、ナビゲーションの映像をTVモニターのワイドモード(66ページ)が[ノーマル]の例で説明しています。TVモニターのワイドモードを[ノーマル]にしたときは、ナビゲーションの[画面表示サイズ]を[ノーマル]に切り換えてください。(『使い方辞典-リモコン操作編』138ページ)

TV側へ切り換えて操作します。





表示の見かた

映像を切り換えたときは、次の内容が約3秒間表示されます。

ナビゲーションの映像に切り換えたとき



ワイドモード (66ページ)

リアモニター映像表示
[外部出力設定]で選んだソースの映像が表示されます。(86、91ページ)
[TV]のときはチャンネルが表示されます。
[出力しない]のときは表示されません。

テレビの映像に切り換えたとき



受信中のチャンネルが大きく表示されます。

約1秒経つと



ワイドモード (66ページ)

チャンネル

カーナビゲーションを使い始める前に

本機の取り付け完了後や設置場所の変更後、タイヤのサイズを変更した後は、必ず接続状態の確認をして、3Dハイブリッドセンサーのリセット操作を行ってください。

チェック 車のエンジンはかけたままで作業を行ってください。



1 安全な場所に車を止める

以下のような条件を満たす場所を選んで停車させてください。

GPS衛星の電波を受信しやすい、見晴らしの良い場所。

水平で約100m程度の直線走行ができる場所。(坂道や路面の起伏が大きい場所では、正しくリセットができません。)

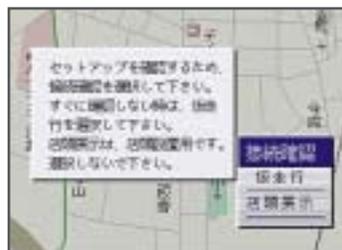
30km/h以上の速度で、10秒以上直進できる場所。

2 本機にディスクをセットして電源をONにする (18ページ)

3 [接続確認]を選び、決定ボタンを押す



[接続確認]を青色表示にします。



とりあえず車を移動したいときは、[仮走行]を選んでください。[仮走行]を選んだ場合は、自転車位置の精度が悪く、また機能も完全には使用できません。

[店頭展示]は店頭設置用ですので選ばないでください。

メモ

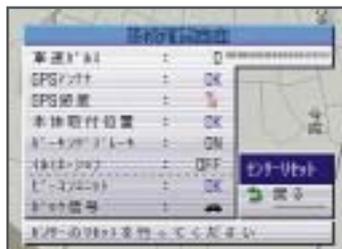
周囲に高い建物や樹木があったり、ビルの駐車場の中にいたりすると、GPS衛星の電波を受信できないことがあります。(GPS受信について気を付けていただきたいこと (96ページ))

ここだけ読めば
すぐ使えます

4 ジョイスティックを上下に動かして[センサーリセット]を選び、決定ボタンを押す



[センサーリセット]を青色表示にします。

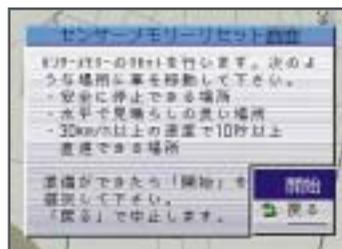


接続確認画面について、詳しくは 『取付説明書』

5 ジョイスティックを上下に動かして[開始]を選び、決定ボタンを押す



[開始]を青色表示にします。



センサーリセットの準備ができるまで、停車したまましばらくお待ちください。

準備

本体の取り付けが正常ではない場合、車が完全に停止していない場合、GPS受信が不安定な場合などには、エラーメッセージが表示されますので、**[確認]**を選び決定ボタンを押して、画面のメッセージにしたがって接続確認からやり直してください。

カーナビゲーションを使い始める前に

6 走行開始のメッセージ表示と音声案内が行われたら、車を走行させる

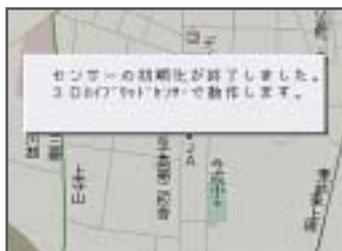
メッセージが表示されてから、5分以内に走行を完了してください。



水平な場所を、30km/h以上の速度で10秒間以上前方に直進します。

7 終了のメッセージ表示と音声案内が行われたら、安全な場所に車を止める

リセットの状況により以下の画面が表示され、正しくリセットが行われると、からに変わり、正しい現在地が表示されます。



すべてのリセットが完了し、約10秒後に走行画面に戻ります。

車速パルスが認識できないとき（車速信号入力（ピンクリード線）が正しく接続されていないとき）は、以下の画面が表示され、簡易ハイブリッド（車速パルスの情報ぬき）での動作となります。



[確認]を選んで、決定ボタンを押すと、走行画面に戻ります。

リセットが完了しない場合、右のようなエラーメッセージが表示されますので、**[確認]**を選び決定ボタンを押して、画面のメッセージにしたがって接続確認からやり直してください。

初めて本機を使うときは、自車マークと実際の現在地が大きくずれることがあります。故障ではありません。誤差を補正する機能の働きにより、走行を重ねるにつれて精度が高くなり、ずれが少なくなってきます。



メモ

センサー学習状況画面からもリセットを行うことができます。

( 『使い方辞典-リモコン操作編』144ページ)

ナビゲーションのふだんの操作

本書では、DVDナビゲーションの、もっとも基本的な操作を紹介します。(詳しい機能については「 使い方辞典 - リモコン操作編」)

自分の車の現在地を確認する



現在地画面になります。

現在地画面



自車マーク

自分の車の現在地と進行方向を表示します。車の走行に合わせて、自車マークと地図が自動的に動きます。

メモ

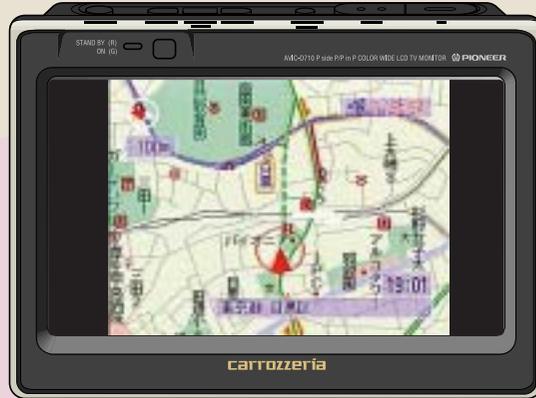
本機を初めて使うときや、長期間使っていないときは、現在地を表示するまでに5分程度かかることがあります。その間は最後に測位した位置が表示されます。

ハイウェイモードの画面 ( 36ページ) のときは、現在地ボタンを押すと、ハイウェイモードの画面での現在位置が表示されます。(地図には戻りません。)

自車マークは、実際の現在地からずれる場合があります。また、自車マークの向きが実際の進行方向とは異なる場合があります。(誤差について  96ページ)



ここだけ読めば
すぐ使えます



見たい場所まで 地図を動かす



地図を動かす方向に
ジョイスティックを
動かします。(上下
左右およびその間
の斜め方向に動き
ます。)



ジョイスティックと同じ方向に
地図が動きます。

スクロール画面

ジョイス
ティック
から手を
離すと



地図を動かすことにより、スク
ロール画面になります。

メモ

まず、広域の地図を表示していて、だいたいの場所まで地図を動かします。それから詳細の地図にしていくと、より早く見たい場所をさがせます。

(地図の縮尺を変えるには 31ページ)

ジョイスティックを倒したまま押し込むと、スクロールのスピードが速くなります。

ナビゲーションを使う

地図表示の見かた

ナビゲーションの地図表示には、現在地画面 (28ページ) とスクロール画面 (29ページ) があります。

現在地画面 自分の車 (自車) の現在地を表示する画面です。

方位表示

赤い三角が北の方向を示します。地図を手動で左右に回転させる (34ページ) と矢印の形に変わります。

スケール円の半径の距離

スケール円 (スカイビューなどの平面でない地図では表示されません。)



自車の現在地の地名 (表示されないところもあります。)

自車マーク

自車の現在地と進行方向を表示します。車の走行に合わせて、自車マークと地図が自動的に動きます。

VICSの情報提供時刻

(『使い方辞典 - リモコン操作編』102ページ)

軌跡表示

今までに通った道です。

現在の時刻

現在地画面にするときは、現在地ボタンを押します。



スクロール画面にするときは、ジョイスティックを動かします。

スクロール画面 見たい場所の地図を表示する画面です。

自車の現在地から十字カーソルまでの直線距離



十字カーソルの位置の地名

十字カーソル

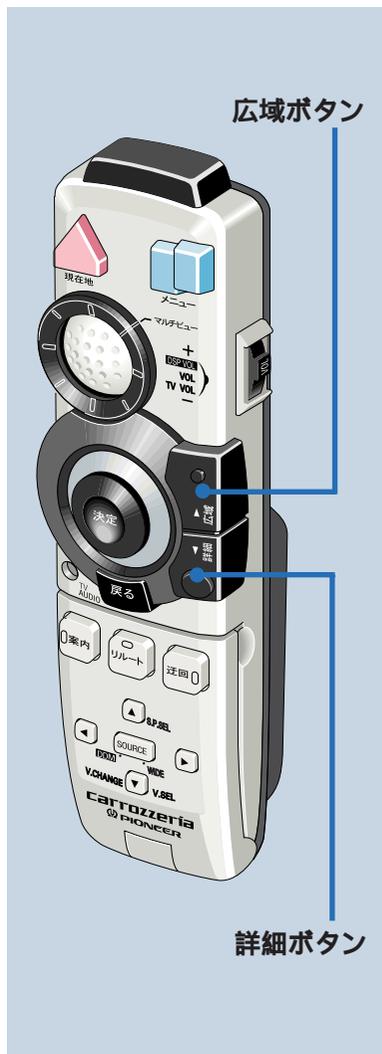
画面の中心に表示されます。

地図の縮尺を変える

地図縮尺の変更

より詳しい地図で、細かい道路まで見たいときは、地図を詳細にしてください。
だいたい位置を知るときや、広い範囲を見るときは、地図を広域にしてください。

すぐ使えます
ここだけ読めば



地図の縮尺を変える



広域にするときは、
広域ボタンを押します。
ボタンを押し続けると、連続的に縮尺が変わります。

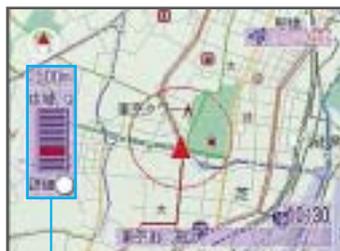


広域

↑
詳細



詳細にするときは、
詳細ボタンを押します。
ボタンを押し続けると、連続的に縮尺が変わります。



スケールバー

ナビゲーションを使う

地図の表示方法を変える

利用状況に応じて、地図の表示方法を変えることができます。

- 1 マルチビュー
コントローラー
- 2



- 1 マルチビューコントローラーを
1 回押す



ビュー切り換えメニュー

- 2 マルチビューコントローラーを
左右に動かす



ビュー切り換えメニューが表示されている間に動かしてください。



↓
マルチビュー
コントローラー
を押す



ノーマルビュー

通常の地図（平面の地図）で表示されます。



スカイビュー

あたかも上空からヘリコプターで見ているように地図を表示します。



ナイアガラビュー

奥行きがあるように地図を表示します。遠くから手前に地図が流れるように表示されます。



ツインビュー

自転車位置と目的地など2つの場所を同時に表示します。右画面はノーマルビュー表示で常に自転車位置を表示します。左画面ではスカイビュー表示が可能です。また、縮尺の変更、地図の回転などができます。



ハイウェイモード

高速道路走行の専用画面です。前方の高速道路施設までの距離や高速料金、高速の分岐方向、高速を降りた後の一般道路の方面案内などが表示されます。目的地までの到着予想時刻も表示されます。



ハイウェイマップ

高速道路だけを目立たせた3D地図です。複雑な都市高速の接続関係や渋滞が一目でわかります。



地図の向きを左右に回転したり見

地図の向きを左右に回転したり、地図を見る角度を変えることができます。

マルチビュー
コントローラー



左に動かします。

メモ

ノーマルビューのときにマルチビューコントローラーを上動かすと自動的にスカイビューになります。

スカイビューのときにマルチビューコントローラーを下動かすと、最後にノーマルビューに戻ります。

ナイアガラビューのときにマルチビューコントローラーを上動かすと画面上半分の角度が変わります。

ハイウェイモードの画面とツインビューの右画面は、ここで説明した操作をしても何も変わりません。

る角度を変える

すぐ使えます
ここだけ読めば



上に動かします。



右に動かします。



下に動かします。



ナビゲーションを使う

角度や縮尺を記憶させるには

現在地ボタンを2秒以上長く押すと、現在の地図縮尺と角度が記憶されます。以降、現在地ボタンを押した際はここで記憶させた縮尺と角度の地図が表示されます。

高速道路の施設情報を見る

ハイウェイモードでは、現在向かっているインターチェンジやサービスエリアまでの距離や料金、渋滞情報などを確認できます。本線上や分岐先の施設の情報をすることも可能です。



ジョイスティックを上に動かすと



先の施設情報が表示されます。ジョイスティックを逆に倒せば、前の施設情報に戻ります。

メモ

高速道路を降りると、自動的に地図画面に戻ります。

高速道路を降りる前に地図画面に戻りたいときは、マルチビューコントローラーで切り換えてください。(32ページ)

決定ボタンを押すと、施設付近の航空写真が表示されます。(イラストの場合や表示されないこともあります。)

道路料金表示、料金案内は運転の際の参考としてご使用ください。走行時は実際の道路料金に従ってください。

現在地の画面に表示を戻したいときは

現在地ボタンを押すと、現在向かっている施設の表示に戻ります。

サービスエリアやパーキングエリアで表示される情報

- ガソリンスタンド(各ガソリンスタンドのマークが表示されます。例：出光興産)
- 身障者用トイレ
- おみやげ屋
- レストラン
- 休憩所
- コインランドリー
- 風呂
- シャワー
- 郵便ポスト
- ファクシミリ
- 仮眠所
- 案内所

料金表示のしかた

- スクロール画面で入口として希望する高速道路インターチェンジ付近にある情報マーク **H** に十字カーソルを合わせて、決定ボタンを押します。
- ショートカットメニューが表示されます。[ハイウェイモード] を選び決定ボタンを押します。
情報マークが近接して複数あるときは、ショートカットメニューに [この情報を見る] と表示されるときがあります。そのときは [この情報を見る] を選び決定ボタンを押すとリストが表示されます。[ハイウェイモード] を選び決定ボタンを押してください。
- 画面がハイウェイモードに切り換わります。ジョイスティックを倒して出口として希望するインターチェンジまで進むと、料金が表示されます。
(ショートカットメニューの操作については 『使い方辞典 - リモコン操作編』 179ページ)

渋滞表示の見かた



道路脇の色表示が道路混雑状況を表わします。
■ : 渋滞 ■ : 混雑
■ : ルート(案内中のみ)

都市高速専用ハイウェイモード



都市高速では、わかりにくいランプやジャンクションがイラストで表示されます。ルートを設定したときには、ルートの道塗りもされます。

メモ

ビュー切り換えでハイウェイモードに切り換えた場合は、料金表示はできません。

ハイウェイモードでは高速道路の施設が近接しているような場合には表示の自動切り換えが間に合わないことがあります。

メニューの基本的な操作

ナビゲーションには便利な機能がたくさんあります。ナビゲーションを使いこなすために、メニューの基本的な操作をしっかりと覚えておきましょう。



地図表示



1 メニュー画面にする

現在地画面とスクロール画面のどちらの画面でも、メニューボタンを押すとメニュー画面になります。

メニュー画面



現在選ばれている項目が青く表示されます。

2 項目を選ぶ

ジョイスティックを動かして、選みたい項目を青く表示させます。

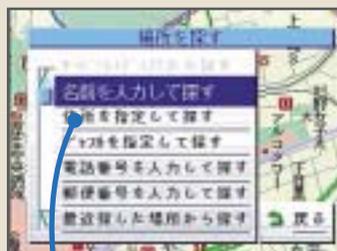
下の項目を選ぶときは、下に動かす



上の項目を選ぶときは、上に動かす



[場所を探す] の次のステップ



3 選んだ項目を決定する

決定ボタンを押すと、選んだ項目の次のステップに進みます。



4 操作を繰り返す

同じようにして項目を選び、決定していくことで、いろいろな機能を使うことができます。

メモ

メニューの項目の中の [戻る] を選び、決定ボタンを押すか、戻るボタンを押すと、前の画面（どこまで戻るかは状態により異なります）に戻ります。

途中で操作がわからなくなったときは、メニューボタンを押してください。メニュー操作が中止され、地図の画面になります。

メニュー画面で操作できる機能

メニューの種類

メニュー画面ではどんな機能が操作できるのか、その内容についてご紹介します。
(詳しくは👉『使い方辞典 - リモコン操作編』)

【行き先】 (👉 42ページ)

行き先をセットするだけで、自動的に道順を決めてくれます。



【場所を探す】

ホテル、遊園地などの電話番号や名前から、その施設周辺の地図を表示させることができます。



【案内中のルート】

設定されているルートを修正したり、登録しておくことができます。



【登録する場所】

友人の家や気に入ったレストランなど、覚えておきたい場所を登録させることができます。



【VICS 情報】

VICS (道路交通情報通信システム) の情報を見ることができます。



【設定を変える】

各種の設定を変更することができます。



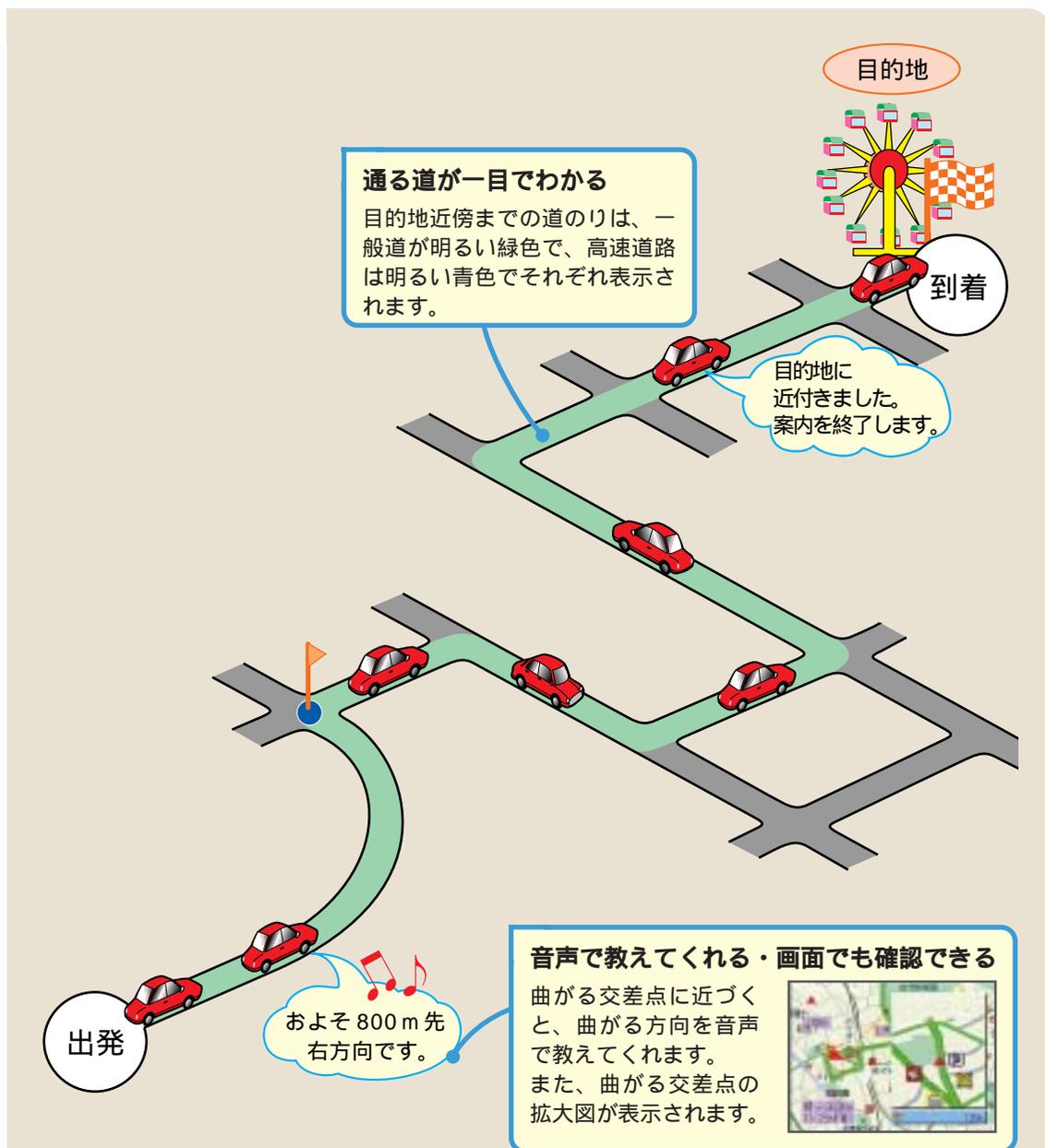
【その他の操作】

お店のマークを表示させたり、FM文字放送を見ることができます。



ルート設定とルート案内について

ドライブの行き先を本機にセットすると、目的地(最終的な行き先)までの道順(ルート)が地図上に表示されます。ドライブを開始すると、目的地までの道のりを本機が案内してくれます。



ルート設定およびルート案内では、最終的な行き先を目的地といいます。ナビゲーションが自動で設定した、ルートの途中で目印となるポイントを案内地点といいます。目的地までの道のりをルートといいます。ルート探索時に立寄地指定で設定したポイントを立寄地といいます。

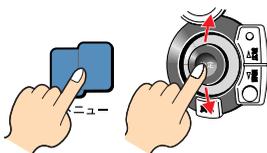
行き先を決める

ドライブの行き先を決めるだけで、現在地から行き先（目的地）までの推奨の道順を、本機が自動的に地図上に表示してくれます。

チェック 最初に、メニューの基本操作を覚えましょう。(38 ページ)



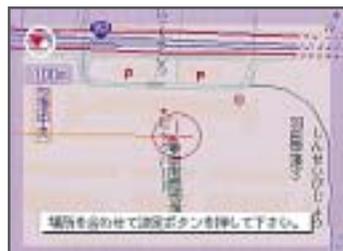
1 メニュー画面を表示させ、[行き先] を選び、決定ボタンを押す



2 行き先を探すため[地図で決める] を選び、決定ボタンを押す



3 行き先に十字カーソルを合わせて決定ボタンを押す



メモ

手順3で決定ボタンを押す前なら、地図を広域にして地図を動かすことができます。より早く行き先を探すことができます。

4 [探索開始]を選び、決定ボタンを押す



行き先が設定され、旗マークが付きます。



現在地から行き先までのルートを探し始めます。(探し終わるまでの時間は、現在地と行き先の位置によって異なります。)

5 ルート探索が終わりルートの候補が表示されたら、好みのルートを選び、決定ボタンを押す



最大8本のルートが表示されま
す。



ルートが設定されます。続いて
「ルート案内を始める」(44
ページ)をお読みください。

メモ

ルート探索時、指定した探索基準に基づいたルートを探査することもできます。(『使い方辞典-リモコン操作編』24、135ページ)

ルート案内を始める

ルートの設定が終わったら、いつでもドライブを始めることができます。目的地に向かって走り始めると、本機が目的地までの道のりを案内してくれます。

チェック 出発前には、現在地ボタンを押して現在地画面にしてください。

ルートを設定したときの現在地画面

ルートを設定したときは、画面上に次の表示が出て、目的地までの道のりを案内します。



ルート
設定したルートは、一般道路の場合は明るい緑色で、高速道路の場合は明るい青色で表示されます。

到着予想時刻と目的地（または立寄り地）までの道のり距離

交差点が近づくと

交差点の拡大画面

ルート上の交差点に近づくと、交差点付近の拡大図が表示されます。交差点を通過すると、拡大図は消えます。



交差点の名称
主要な交差点の場合は、その名称が表示されます。

交差点の拡大図
拡大図では、目印となる施設がマークで表示されます。

交差点までの残りの距離

メモ

交差点によっては、拡大図が表示されないこともあります。

音声による案内について(🔊 48ページ)

インターチェンジなどの航空写真・イラスト表示

高速道路の出口やジャンクションでは1回目の音声案内タイミングで航空写真（都市高速の場合はイラスト）が表示されます。（一部表示されないところもあります。）



インターチェンジやジャンクションのおよそ500m手前で交差点拡大図が表示されます。

交通状況が変化したときは

渋滞や時刻指定の交通規制など、交通状況が変化すると、自動的にルートが修正されます（リアルタイムリルート）。

ルートから外れたときは

予定外のちょっとした寄り道などでルートから外れてしまっても、案内中のルートに戻るよう、自動的にルートが修正されます（オートリルート）。（『使い方辞典 - リモコン操作編』38ページ）

メモ

航空写真の表示は、[ルートの初期設定]メニューの[高速施設写真表示]でON/OFFできます。（『使い方辞典 - リモコン操作編』136ページ）

オートリルートやリアルタイムリルートは[ルートの初期設定]メニューの[オートリルート]や[リアルタイムリルート]でON/OFFできます。（『使い方辞典 - リモコン操作編』135ページ）

オートリルートをOFFにしているときに、リルートを行いたい場合はリモコンのリルートボタンを押してください。（『使い方辞典 - リモコン操作編』40ページ）

VICSやピーコンの情報が取得できない場合など、リアルタイムリルートが行われないことがあります。

ルートインフォメーションを表示する

ルート案内中に、画面右側に常にルートインフォメーションを表示させておくことができます。

ルートインフォメーションを表示したときの 現在地画面

画面右側に2つ先までのルートインフォメーション（案内地の名称、そこまでの距離、進行方向）を表示します。



交差点が近づくと

交差点の拡大画面

画面表示のルート案内同様に、交差点拡大も行われます。



メモ

ルートインフォメーションが不明のときは名称を「案内地」と表示します。

ルートインフォメーション表示

ルートインフォメーションを表示するには、そのための設定と、ワイド画面を使用する設定が必要です。

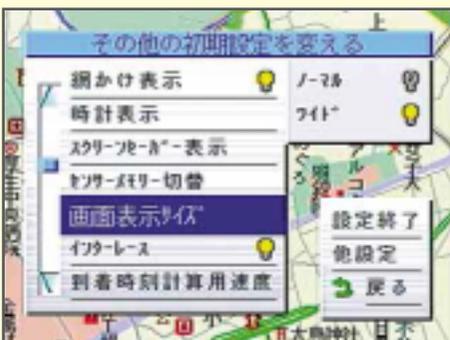
ルートインフォメーション表示画面にする初期設定

メニューボタンを押して [設定を変える] [初期設定] [ルートの初期設定] と画面を切り換えて行き、[ルートインフォメーション表示] をONにします。



ワイド画面の設定

メニューボタンを押して [設定を変える] [初期設定] [その他の初期設定] と画面を切り換えて行き、 [画面表示サイズ] を [ワイド] にします。



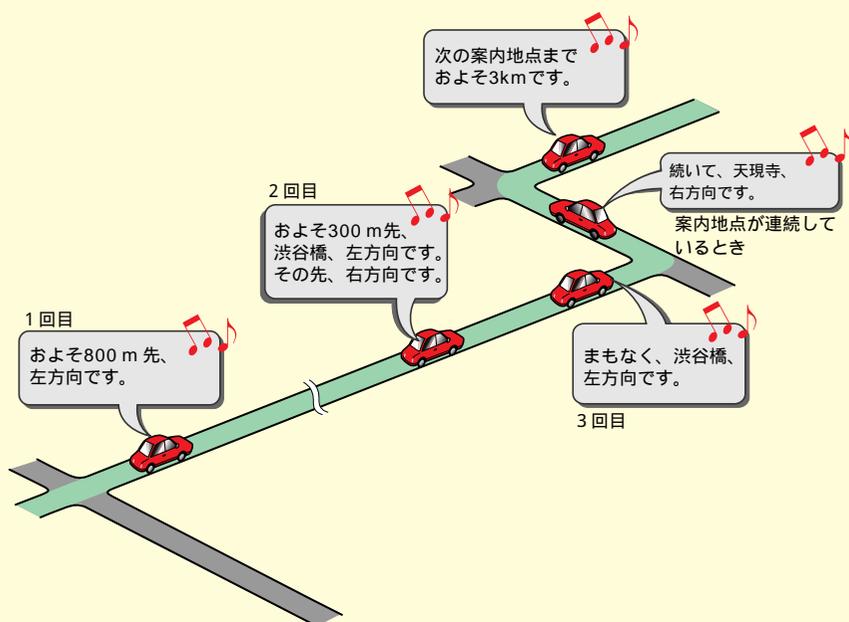
詳しい設定の手順については『使い方辞典 - リモコン操作編』130ページを参照してください。

音声による誘導・案内

ルートに沿って走行すると、ドライビングの状況や車の速度に応じて、きめ細かく音声で道案内されます。

一般道路での誘導・案内

車の速度に合わせ、交差点の手前で最大3回、音声案内がされます。また、そのタイミングに合わせて交差点拡大図も表示されます。交差点間が150m以内の複合交差点では拡大図が途切れることなく連続表示されます。



高速道路での誘導・案内

1回目の音声案内とともにインターチェンジやジャンクションなどの航空写真（都市高速では出口やジャンクションのイラスト）が表示されます。その後インターチェンジやジャンクションのおよそ500m手前で交差点拡大図が表示されると同時に、高速道路の場合には出口の料金所で料金の案内と出口後の方面案内もしてくれま

メモ

ルート案内での高速道路出口料金案内は、最初にルートを設定したときの入口から出口までの料金を案内します。高速道路に入ってからルートを設定した場合や途中でルートを変更した場合（オートリルートを含む）には料金案内が実際と異なったり、案内されないことがあります。

料金案内は、1998年4月現在の普通車のもので、正しくは、料金所窓口で確認してください。

音声案内の種類

7方向の音声案内が流れます。



側道案内

およそ 100m 先、側道を左方向です。

合流案内

まもなく、合流です。

高速（有料）道路入口・出口案内

高速（有料）道路料金所案内

リフレッシュ案内

例：そろそろ2時間になります。休憩しませんか？

注意ポイント案内

例：この先踏切です。ご注意ください。

ライト点灯案内

例：まもなく日没になります。ライトの点灯を確認しましょう。

VICS 渋滞案内

案内ボタンを2秒以上長く押すと、VICSの渋滞情報を聞くことができます。同時に渋滞付近の地図を表示します。

誘導される右左折の方向は、実際の道路の形状とは異なる場合があります。

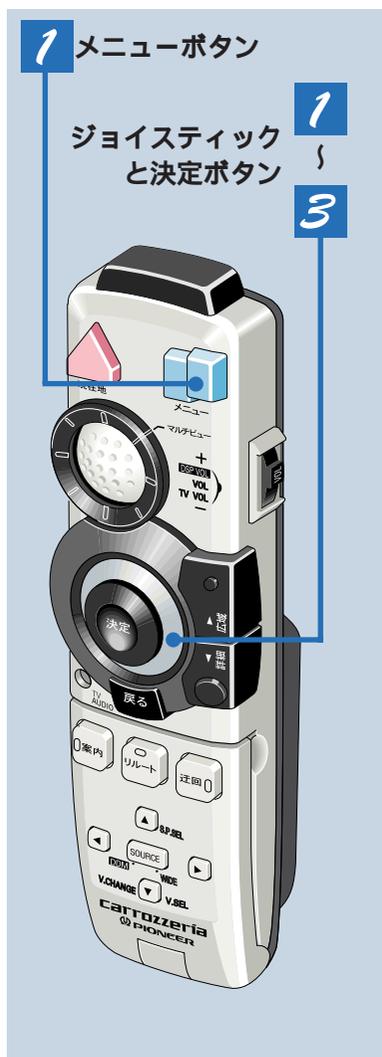
踏切の注意ポイント案内は、走行中の道路の先に踏切がない場合でも、近くに踏切があれば案内される場合があります。

ルートの道順を確認する

ルートスクロール

設定したルートをひと通り見たいときは、ルートに沿って地図を動かすことができます。

チェック 最初に、メニューの基本操作を覚えましょう。(38 ページ)



1 メニュー画面を表示させ、[案内中のルート]を選び、決定ボタンを押す



2 [確認する]を選び、決定ボタンを押す



3 ルートに沿って地図を動かす



先に進むとき



前に戻るとき

十字カーソルがルートに沿ってスクロールします。



(しばらくしてからジョイスティックを離すと、後は自動的に動きます。)

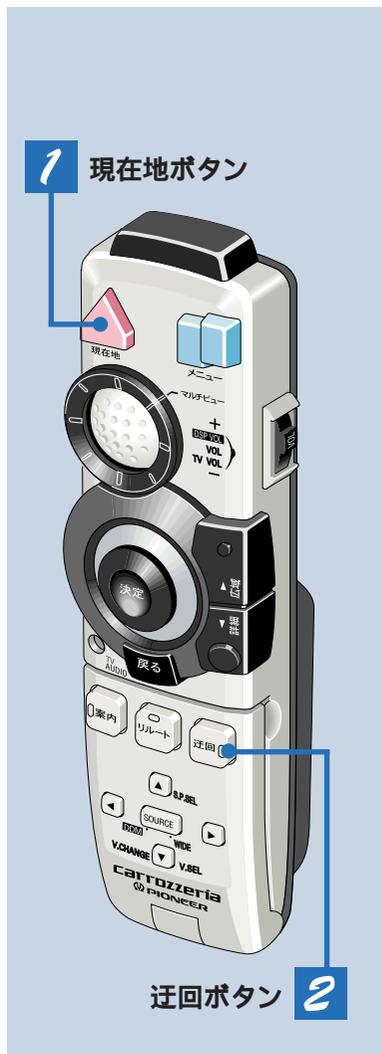
メモ

ルートの確認が終わったら、現在地ボタンを押してルートスクロールモードを解除してください。

目前の渋滞を迂回する

迂回路探索

事故などで目前の道路が渋滞している場合でも、ワンタッチで渋滞を迂回するようにルートを修正できます。



1 現在地画面にする



2 迂回ボタンを押す



探索が終わると



修正したルートが自動的に設定されます。

ナビゲーションを使う

メモ

迂回する距離を指定したいときは

メニュー操作で [案内中のルート] の [迂回する] を行うと、迂回距離を指定できます。

上記の操作で迂回距離を指定すると、以降、迂回ボタンによる迂回路探索はこの距離を基に行われます。

自宅がある場所を登録する

カーナビゲーションに自宅がある場所を憶えさせておくと、ドライブ先から自宅へ帰る際、ルート設定が簡単にできるようになります。

チェック 最初に、メニューの基本操作を覚えましょう。(☞ 38ページ)



1 メニュー画面を表示させ、[登録する場所]を選び、決定ボタンを押す



2 自宅を探すために[地図で決める]を選び、決定ボタンを押す



3 自宅のある場所に十字カーソルを合わせて、決定ボタンを押す

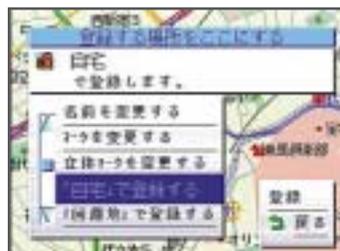
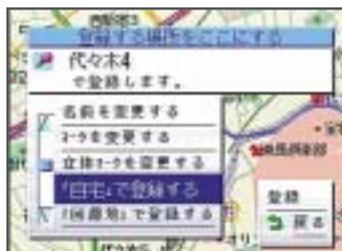


十字カーソル

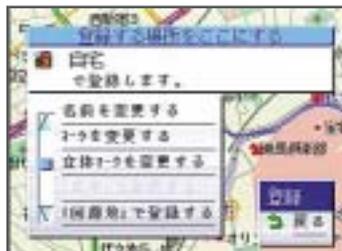
メモ

手順3で決定ボタンを押す前なら、地図を広域にして地図を動かすことができます。より早く場所を探ることができます。

4 「自宅」で登録する を選び、決定ボタンを押す



5 「登録」を選び、決定ボタンを押す



自宅へ戻るルートを探す

ワンタッチ自宅ルート探索

自宅が登録されていれば、いつでもワンタッチで自宅へ戻るルートを探すことができます。



リルートボタンを2秒以上長く押す



2秒以上長く
押す



探索が終わると



現在地から自宅へ戻るルートが
自動的に設定されます。

テレビのふだんの操作

チャンネルを選ぶ

1 テレビの映像にする



テレビの映像になるまで、ボタンを何回か押します。

TVモニター上面のVIDEO CHANGE ボタンを押しても切り換わりません。

(82 ページ)



チャンネル

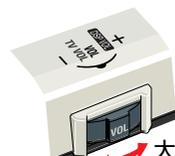
モノラル放送のとき：緑
ステレオ放送のとき：黄
2カ国語放送のとき：赤

メモ

走行中にテレビの映像を見ることはできませんが、テレビの各操作を行うことはできます。(音声も聞けます。)

FMトランスミッター機能をお使いになると、テレビの音声を車のスピーカーで聞くことができます。(82 ページ)

スピーカーの音量調整



小さく

大きく

TVモニター背面のスピーカーから、テレビの音声が出力されます。適度な音量に調整してください。

TV側

TV側に切り換えて操作します。

メモ

テレビの操作を行うときは、必ず操作モード切り換えスイッチをTV側に切り換えてください。AUDIO側では操作できません。



オートプリセット/プリセット選局

VIDEO CHANGE ボタン DOWN/UP ボタン



ここだけ読めば
すぐ使えます

2 自動的に複数のチャンネルを記憶させる

自動的に受信状態の良いチャンネルを探して、記憶します。(オートプリセット)

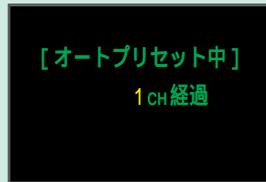


2秒以上長く押す

または



2秒以上長く押す



1chから順番にサーチし、受信可能なチャンネルを記憶していきます。

オートプリセットが終わると、操作を開始したチャンネルに戻ります。

メモ

[チャンネルモード設定] (58ページ)が [オートプリセット] になっていないときは、オートプリセットすることができません。[オートプリセット] に切り換えてください。

電波が弱いところでは、チャンネルが記憶されないことがあります。

オートプリセットを行うと、操作前に記憶していたチャンネルは置き換えられます。

映らないチャンネルが記憶されることがあります。

TVモニター上面のDOWNボタンやUPボタンを2秒以上長く押ししてもオートプリセットできます。

テレビを見る

3 見たいチャンネルを選ぶ

記憶されているチャンネルの中から選びます。(プリセット選局)



チャンネルを小さくするとき



チャンネルを大きくするとき



選択されたチャンネル

TVモニター上面のDOWNボタンやUPボタンを押してもチャンネルを選べます。

記憶されていないチャンネルを見る

記憶されていないチャンネルでも、選局することができます。



1 設定メニューを表示させる



2 [チャンネルモード設定]を選ぶ



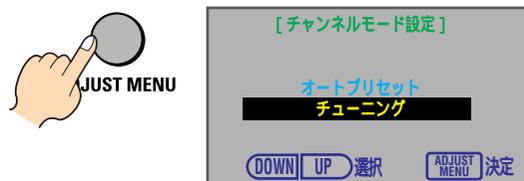
3 ADJUST MENU ボタンを押す



4 [チューニング]を選ぶ



5 ADJUST MENU ボタンを押す



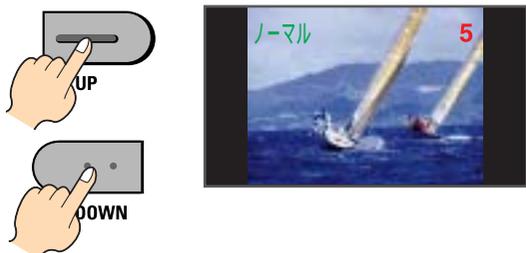
設定メニューに戻ります。[終了]を選んでADJUST MENU ボタンを押して、設定メニューを消します。

メモ

設定メニューと各項目の表示は、何も操作が行われないと約10秒で自動的に消えます。

手順4で[オートプリセット]を選ぶと、オートプリセットとプリセット選局ができます。(57ページ)

6 チャンネルを選局する



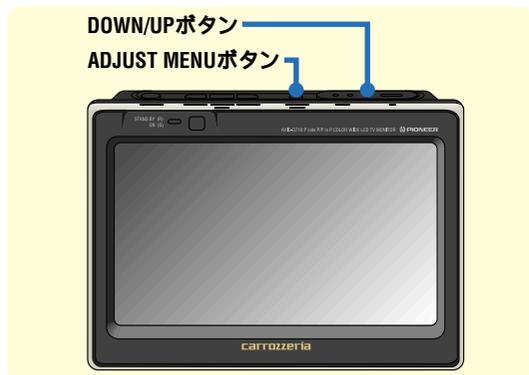
ボタンを押すのが2秒未満：
手動選局（1チャンネルずつ切り換わります。）

ボタンを押すのが2秒以上：
自動選局（受信感度のよいチャンネルを探して、チャンネルが切り換わります。）

リモコンの▶ボタン、◀ボタンでも選局することができます

2 カ国語放送およびステレオ放送の

2カ国語放送（音声多重放送）を受信しているときは、主音声/副音声の切り換えができます。ステレオ放送を受信しているときは、音声をモノラルにすることができます。



1 調整メニューを表示させる



ADJUST MENU ボタンを2秒以上長く押す



2 [音声切換]を選ぶ



3 ADJUST MENU ボタンを押す



4 音声を選ぶ



[2カ国語放送を受信しているとき]

[主] を選ぶと、主音声（日本語）だけを聞けます。

[副] を選ぶと、副音声（外国語）だけを聞けます。

[主 + 副] を選ぶと、主音声と副音声の両方を聞けます。

[ステレオ放送を受信しているとき]

[モノラル] を選ぶと、音声がモノラルになります。

[ステレオ] を選ぶと、音声がステレオになります。

[モノラル放送を受信しているとき]

[モノラル] が表示されます。（音声は切り換えられません。）

メモ

調整メニューと各項目の表示は、何も操作が行われないと約10秒で自動的に消えます。

5 ADJUST MENU ボタンを押す



調整メニューに戻ります。[終了]を選んでADJUST MENU ボタンを押して設定メニューを消します。

メモ

洋画やニュースの2ヵ国語放送のように、2種類の音声を持った放送のことを音声多重放送といいます。

2ヵ国語放送の場合は、一般に主音声を日本語、副音声を外国語(例えば英語)で放送します。(逆の場合もあります。)

ステレオ放送の雑音が多いときは、音声をモノラルにすると雑音が少なくなります。

[ステレオ]に設定するとFMトランスミッター(☞ 82ページ)とリアモニター出力(☞ 91ページ)から出力される音声がステレオになります。TVモニターに内蔵のスピーカーから出力される音声は、[ステレオ]に設定しても常にモノラルになります。

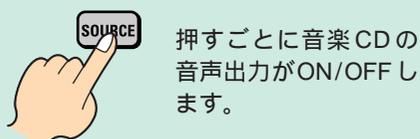
[音声切換]のメニューは、テレビの映像を表示しているときだけ表示されます。

音楽CDのふだんの操作

オーバーレイディスクプレーヤー「CDX-R101」(別売)に一般の音楽CDをセットすれば、音楽CDの曲を聞くことができます。

チェック 最初に、ナビゲーションの映像を表示させてください。

1 音声ソースを「M-CD」に切り換える



M-CD オーバレイディスクプレーヤー「CDX-R101」で再生した音楽CDの音声が出力されます。

AUDIO OFF 音楽CDの音声が出力されなくなります。

2 聞きたい曲のディスク番号を選ぶ



ディスク番号

メモ

CDの操作を行うときは、必ず操作モード切り換えスイッチをAUDIO側に切り換えてください。TV側では操作できません。

SOURCEボタンを押した際に「CD-ROMが再生されています」と表示されたときは、手順2の操作を行って音楽CDに切り換えてください。

操作ウィンドウは、何も操作が行われないと約4秒で自動的に表示が消えます。

操作ウィンドウをすぐに消したいときは、戻るボタンを押してください。



SOURCEボタン



▲/▼/◀/▶ボタン

3 聞きたい曲を選ぶ



前の曲を聞くととき



次の曲を聞くととき



曲番号

4 音声を聞く

オーバーレイディスクプレーヤーの音声出力「TO TV」を、パイオニア製カーステレオのIP-BUS入力に接続している場合
カーステレオのAUX設定をONにして、ソースをAUXに切り換えてください。

オーバーレイディスクプレーヤーの音声出力「TO TV」を、TVチューナーのビデオ入力2の音声入力に接続している場合
TVモニターの[ビデオモード設定]の[ビデオ2設定]を[ビデオ設定]にして(👉 88ページ) [外部出力設定]を[ビデオ2]に切り換えてください(👉 86ページ)。

音楽CDの再生をやめるときは

SOURCE ボタンを押す

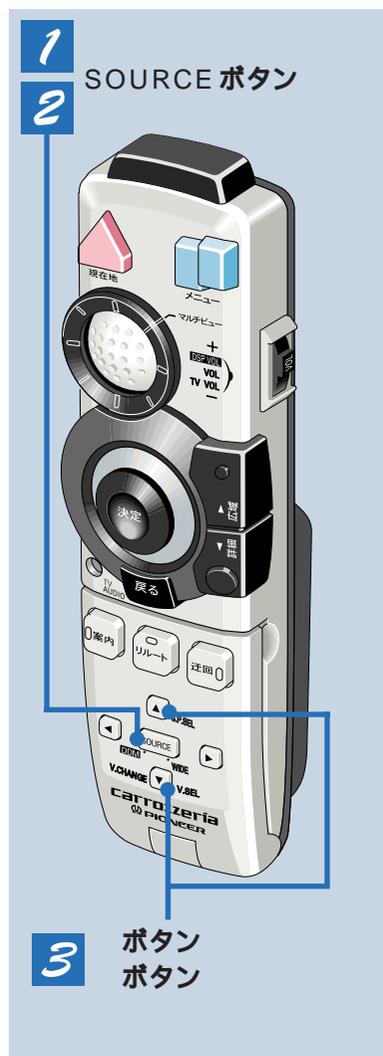


タイトルを見て聞きたいCDを探す

タイトルリスト

画面に音楽CDのタイトルリストを表示させ、そこから聞きたいCDを探し出すことができます。CDを選んで少し経つと、選んだCDの再生が自動的に始まります。

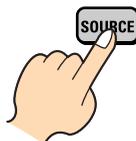
チェック タイトルはナビゲーションのメニューで設定します。(『使い方辞典 - リモコン操作編』170ページ)



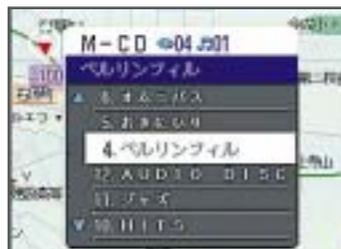
1 音声ソースを「M-CD」に切り換える (『使い方辞典』62ページ)



2 SOURCE ボタンを2秒以上長く押す



2秒以上長く
押す



3 ボタンや ボタンを押してディスク名を選ぶ



選んだCDが再生されます。

メモ

タイトルリストは、何も操作が行われないと約4秒で自動的に表示が消えます。

タイトルリストをすぐに消したいときは、戻るボタンを押してください。

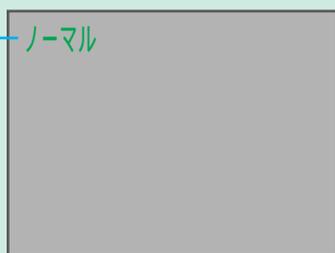
ワイド画面の拡大のしかたを変える

4 : 3の映像を 16 : 9の映像に拡大するときの方法を選ぶことができます。通常のテレビ番組を見るときや、映画を見るときなど、お好みに合わせて切り換えてください。

WIDE MODE ボタンを押す



押すごとにワイド画面の拡大のしかたが切り換わります。



ナビゲーションの映像について

ナビゲーションの映像は、ナビゲーションの [設定を変える] - [初期設定] - [その他の初期設定] - [画面表示サイズ] を [ワイド] に切り換えると、16 : 9のワイドサイズになりますので、より広い範囲の地図を表示することができます。(このとき、TVモニターのワイドモードは [フル] にしてください。 [フル] 以外では地図が変形したり欠けてしまいます。

メモ

ワイドモードは各映像(ナビゲーション、テレビ、ビデオ1、ビデオ2)ごとに設定できます。(ビデオ1およびビデオ2は [ビデオモード設定] の [ビデオ1設定] および [ビデオ2設定] を [ビデオ設定] に切り換えているときだけ選択できます。 (88ページ)

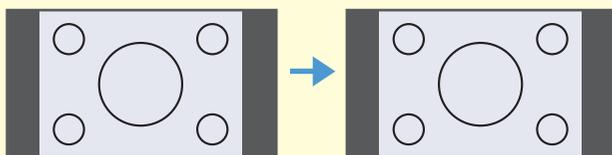
通常のテレビ放送の番組をズームで見ると、映像比率が異なるモードを選ぶと、本来の映像と見えかたに差が出ます。

本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、画面モード切り換え機能(フル、ズームなど)を利用して、画面の圧縮、引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。ワイドモードの切り換えは、リモコンの SOURCE ボタン (WIDE MODE に機能を切り換えたとき) でも操作することができます。(16ページ)

ワイドモード (ノーマル/フル/ジャスト/ズーム)

ノーマル

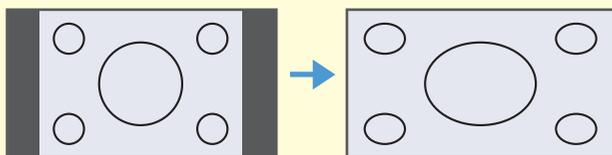
4:3の映像をそのまま表示します。



通常の映像と同じですので、違和感がありません。

フル

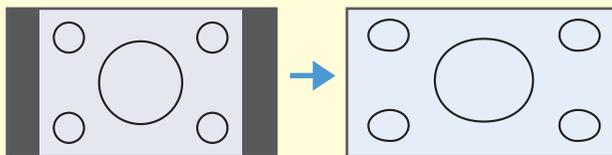
4:3の映像の左右だけを均等に拡大します。



テレビの4:3の映像(通常の映像)が欠けることなく、ワイド画面で楽しめます。

ジャスト

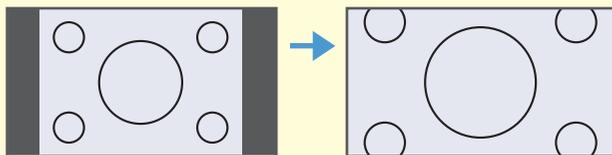
4:3の映像の左右だけを拡大します。
(中央付近は少なく、左右周辺のみを広く拡大します。)



テレビの4:3の映像が違和感少なく、自然な形でワイド画面を楽しめます。

ズーム

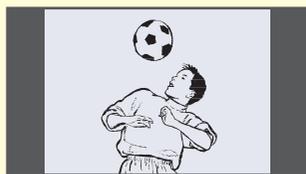
4:3の映像の上下、左右を同じ比率で拡大します。
(はみ出た上下の映像は欠けてしまいます。)



映画サイズの映像(横長の映像)を楽しむモードです。

この映像にはこのワイドモードをおすすめします

テレビの4:3の映像
(通常の映像)



ジャスト、フル(またはノーマル)
ズームにすると、映像の上下が欠けてしまいます。

映画サイズの映像
(横長の映像)



ズーム
映画サイズの映像は、上下に黒帯が付いているので、ズームが適しています。

2画面で見る

テレビとナビゲーションの映像や、テレビとビデオの映像など、2つの映像を同時に見ることができます。



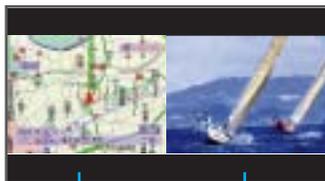
2画面モードを切り換える



1画面



ピクチャー サイド ピクチャー



左画面

右画面

ピクチャー イン ピクチャー



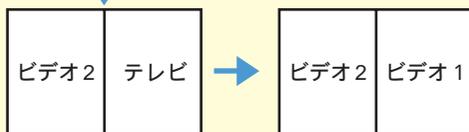
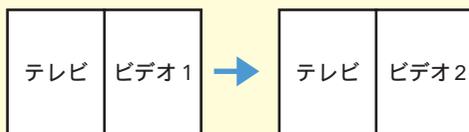
親画面

子画面

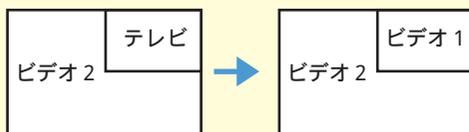
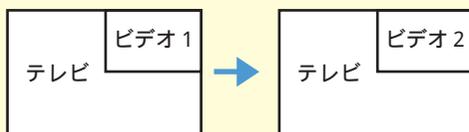
2画面モードで画像を切り換える

2画面モードのときにVIDEO CHANGE ボタンを押すごとに、左右の画面や、親画面、子画面を入れ換えることができます。

ピクチャー サイド ピクチャーのとき



ピクチャー イン ピクチャーのとき



メモ

[ビデオモード設定]の[ビデオ1設定]または[ビデオ2設定]を[設定しない]に切り換えているときは、ビデオ1またはビデオ2の映像には切り換わりません。(88ページ)

2画面モードの切り換えは、リモコンのSOURCEボタン(DDMに機能を切り換えたとき)でも操作することができます。(16ページ)

ピクチャー サイド ピクチャー/ピクチャー イン ピクチャー

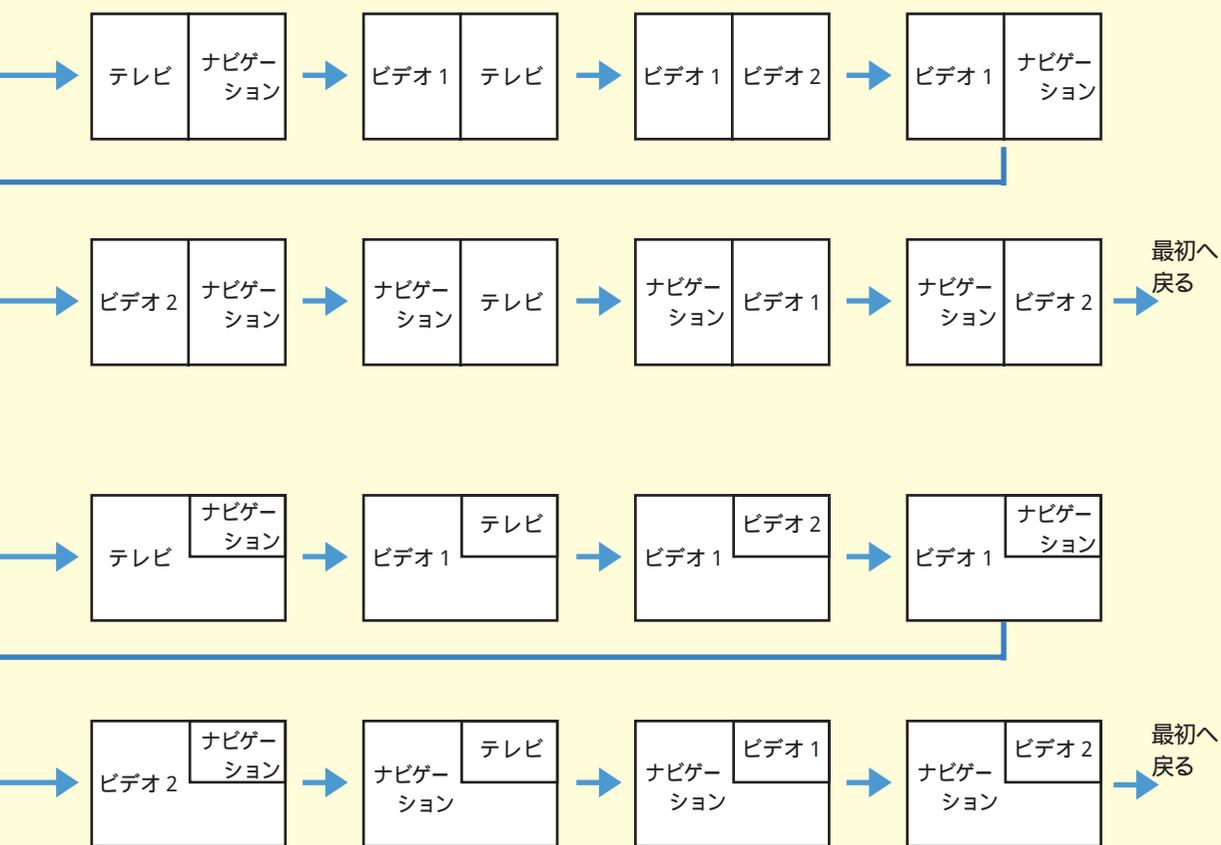


押すごとに映像が切り換わります。

2画面とも同じ映像にすることはできません。

走行中にテレビやビデオの映像を見ることはできません。(黒一色の画面になります。)このような場合には、安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけると、テレビやビデオの映像を見ることができるようになります。

映像の切り換えは、リモコンの ボタンでも操作することができます。



ピクチャー サイド ピクチャーの映像は、縮小のしかたを変えることができます。(71ページ)

ピクチャー イン ピクチャーの子画面の位置や大きさは変更することができます。(72、73ページ)

ピクチャー イン ピクチャーの親画面の映像は、常にフルになります。

ピクチャー サイド ピクチャーでナビゲーションを表示するときは、[画面表示サイズ]を[ノーマル]にすることをおすすめします。[ワイド]にしていると、映像の変形が大きくなります。(『使い方辞典-リモコン操作編』138ページ)

2 画面モードで操作する画面を選ぶ

操作画面の切り換え

2画面モードで操作したい方の画面を選ぶことができます。



2 [操作画面] を切り換える



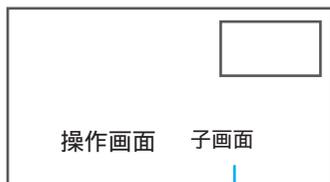
ピクチャー サイド ピクチャーのとき



右画面を操作することができます。



ピクチャー イン ピクチャーのとき



子画面を操作することができます。

1 [操作画面] を表示させる



ADJUST MENU
ボタンを押す

ピクチャー サイド ピクチャーのとき



左画面を操作することができます。

ピクチャー イン ピクチャーのとき



親画面を操作することができます。

何も操作が行われないと約3秒で自動的に表示が消えます。

メモ

1画面のときには [操作画面] は表示されません。

2 画面モードで映像の縮小のしかたを変える

ハーフ1/ハーフ2/ハーフ3

ピクチャー サイド ピクチャーで画像の縮小のしかたを変えることができます。

WIDE MODEボタン



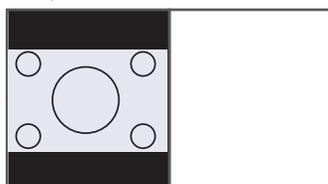
ピクチャー サイド ピクチャーにしているときに操作します。

WIDE MODE ボタンを押す

押すごとに映像の縮小のしかたが切り換わります。

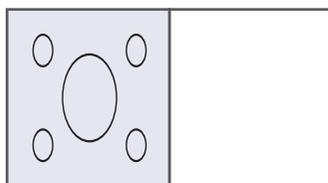


ハーフ1



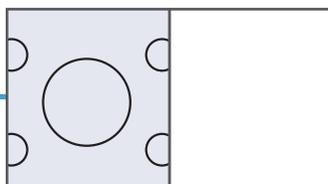
4 : 3 の映像をそのままの比率で縮小します。

ハーフ2



4 : 3 の映像の左右を均等に縮小します。

ハーフ3



4 : 3 の映像の左右を切りとります。

メモ

操作画面になっている映像のみ切り換えることができます。

各映像（ナビゲーション、テレビ、ビデオ1、ビデオ2）ごとに設定することができます。

画像の縮小のしかたの切り換えは、リモコンのSOURCEボタン（WIDE MODEに機能を切り換えたとき）でも操作することができます。（ 16ページ）

子画面の位置を変える

ピクチャー イン ピクチャーの子画面の位置

ピクチャー イン ピクチャーの子画面の位置を、変更することができます。

WIDE MODEボタン

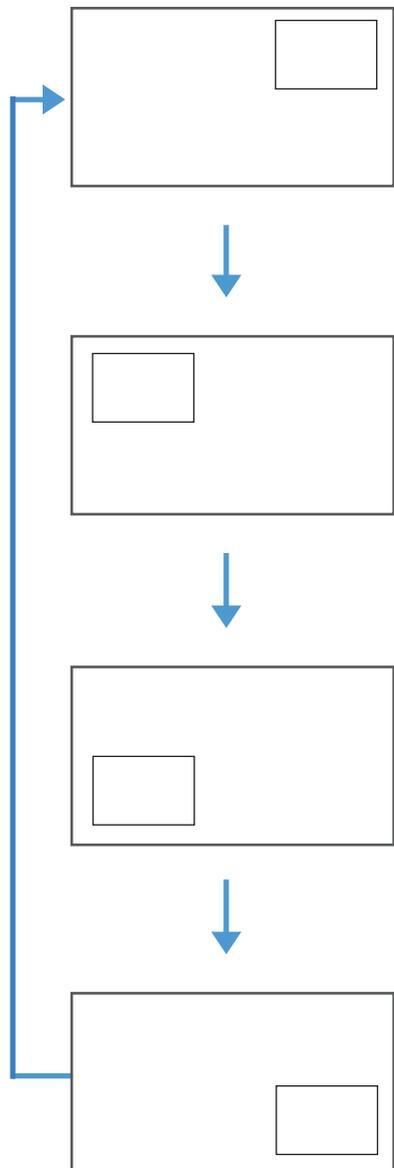


ピクチャー イン ピクチャーにしているときに操作します。

WIDE MODE ボタンを押す



押すごとに画面の位置が切り換わります。



メモ

親画面の映像は常にフルになります。
 子画面の大きさは変更することができます。
 (右ページ)
 子画面の位置の切り換えは、リモコンのSOURCE
 ボタン (WIDE MODEに機能を切り換えたとき)
 でも操作することができます。(16ページ)

子画面の大きさを变える

ピクチャー イン ピクチャーの子画面のサイズ

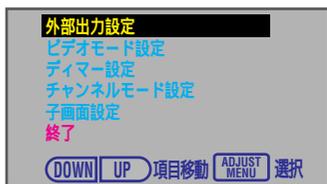
ピクチャー イン ピクチャーの子画面の大きさを、変更することができます。



1 設定メニューを表示させる



VIDEO CHANGE
ボタンを2秒以上
長く押す



2 [子画面設定]を選ぶ



3 ADJUST MENU ボタンを押す



4 子画面の大きさを選ぶ



5 ADJUST MENU ボタンを押す



設定メニューに戻ります。[終了]を選んでADJUST MENUボタンを押して設定メニューを消します。

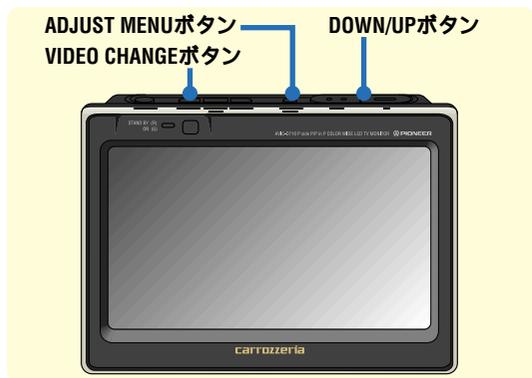
メモ

設定メニューと各項目の表示は何も操作が行われ
ないと約10秒で自動的に消えます。

ピクチャー イン ピクチャーにしているときに手順
4の操作を行うと、実際に子画面の大きさを見なが
ら選ぶことができます。

液晶画面の明るさを自動で調整する

周囲の明るさに合わせて、自動的に液晶画面の明るさを調整することができます。この機能により、常に液晶画面を見やすい明るさにしておくことができます。



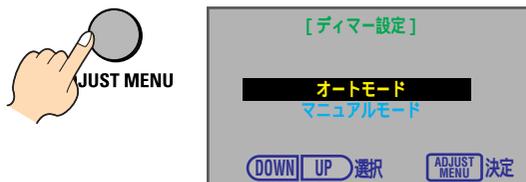
1 設定メニューを表示させる



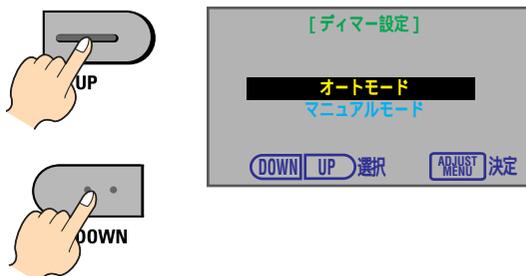
2 [ディマ-設定]を選ぶ



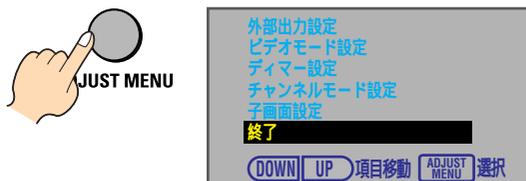
3 ADJUST MENU ボタンを押す



4 [オートモード]を選ぶ



5 ADJUST MENU ボタンを押す



設定メニューに戻ります。[終了]を選んでADJUST MENUボタンを押して設定メニューを消します。

メモ

設定メニューと各項目の表示は、何も操作が行われないと約10秒で自動的に消えます。

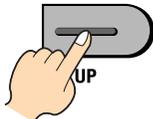
6 [オートディマー(暗レベル)]を表示させる



[オートディマー]が表示されるまで、ADJUST MENU ボタンを何回か押す

何も操作が行われないと約3秒で自動的に表示が消えます。

7 夜間に最も見やすい明るさに調整する



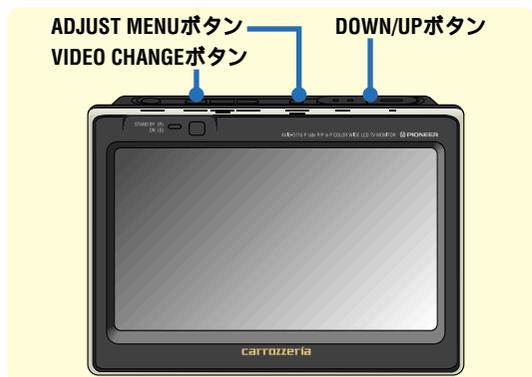
夜間、周囲が暗くなったときに、ここで設定した明るさまでの範囲で、画面が自動的に暗くなります。

メモ

オートディマー(暗レベル)を「0」にすると、最大輝度に設定されます。周囲の明るさが変わっても、画面の明るさは変わりません。

液晶画面の明るさを手動で調整する

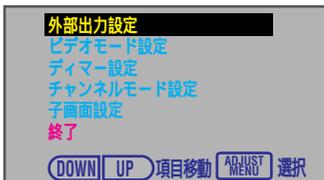
液晶画面の明るさを手動で調整することができます。



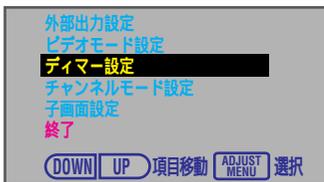
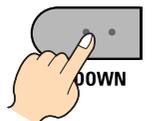
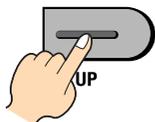
1 設定メニューを表示させる



VIDEO CHANGE ボタンを2秒以上長く押す



2 [ディマ-設定]を選ぶ



3 ADJUST MENU ボタンを押す



4 [マニュアルモード]を選ぶ



5 ADJUST MENU ボタンを押す



設定メニューに戻ります。[終了]を選んでADJUST MENU ボタンを押して設定メニューを消します。

メモ

設定メニューと各項目の表示は、何も操作が行われないと約10秒で自動的に消えます。

マニュアルモードを選択すると、オートディマ-機能は働きません。

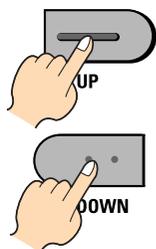
6 [明るさ]を表示させる



[明るさ]が表示されるまでADJUST MENU ボタンを何回か押す

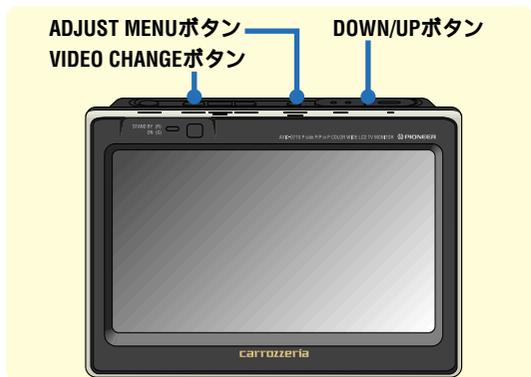
何も操作が行われないと約3秒で自動的に表示が消えます。

7 画面の明るさを調整する



映像の明るさや色などを調整する

映像の明るさ（黒レベル）、明暗（コントラスト）、色の濃さ、色あいを、お好みに合わせて変えることができます。



1 調整する映像を選ぶ



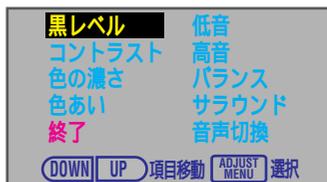
VIDEO CHANGE ボタンを押して調整する映像を表示させてください。

映像の調整内容は各映像（ナビゲーション、テレビ、ビデオ1、ビデオ2）ごとに記憶されます。（ビデオ1およびビデオ2は [ビデオモード設定] の [ビデオ1設定] および [ビデオ2設定] を [ビデオ設定] に切り換えているときだけ選択できます。 (▶ 88ページ)

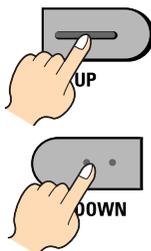
2 調整メニューを表示させる



ADJUST MENU ボタンを2秒以上長く押す

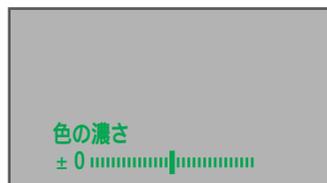


3 調整する項目を選ぶ



[黒レベル] [コントラスト] [色の濃さ] または [色あい] を選びます。

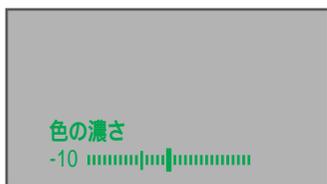
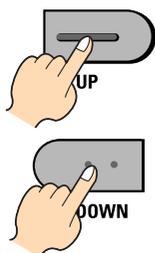
4 ADJUST MENU ボタンを押す



メモ

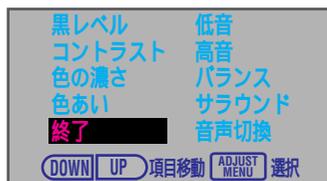
調整メニューと各項目の表示は、何も操作が行われないと約10秒で自動的に消えます。

5 調整を行う



調整項目	DOWN	UP
黒レベル (明るさ)	暗くなる	明るくなる
コントラスト (明暗)	白黒の差が 小さくなる	白黒の差が はっきりする
色の濃さ	薄くなる	濃くなる
色あい	肌色が紫がかる	肌色が緑がかる

6 ADJUST MENU ボタンを押す



調整メニューに戻ります。手順 3 ~ 6 の操作を繰り返して他の項目を調整します。調整が終わったら [終了] を選んで ADJUST MENU ボタンを押して調整メニューを消します。

必ず画像の黒レベルを調整してください

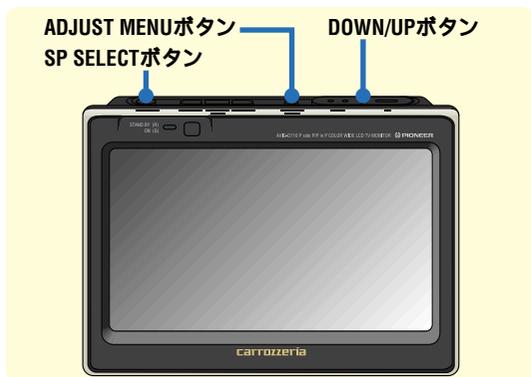
TV モニターの液晶画面は、その構造上きれいに見える角度が限られていますが、その左右方向の角度は映像の黒レベルを調整することで変えることができます。初めてお使いになるときは、画面がきれいに見えるように、見る角度に合わせて映像の黒レベルを調整してください。

メモ

ナビゲーションの映像や 2 画面モードのときは [色の濃さ] と [色あい] は調整できません。(メニューに表示されません。)

内蔵スピーカーの音声を選ぶ

TVモニターに内蔵のスピーカーから出力される音声を選べます。例えば「テレビの音声は車のスピーカーから、ナビゲーションの音声案内は内蔵スピーカーから出力する」というように設定できます。



1 SP SELECT ボタンを押す



2 出力する音声を選ぶ



3 ADJUST MENU ボタンを押す



[スピーカー設定] の表示が消えます。

4 [スピーカー音量] を表示させる

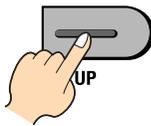


[スピーカー音量] が表示されるまで、ADJUST MENU ボタンを何回か押す



何も操作が行われないと約3秒で自動的に表示が消えます。

5 音量を調整する



メモ

設定メニューは、何も操作が行われないと約10秒で自動的に表示が消えます。

TVモニターの内蔵スピーカー音量の調整は、リモコンでも操作することができます。(16ページ)

スピーカー出力設定と出力される音声

スピーカー出力設定	1画面のとき	2画面のとき
標準 (操作画面)	表示されている映像の音声、TVモニターのスピーカーから出力されます。	操作画面になっている映像の音声、TVモニターのスピーカーから出力されます。
副画面	表示されている映像の音声、TVモニターのスピーカーから出力されます。	操作画面になっていない方の映像の音声、TVモニターのスピーカーから出力されます。
カーナビ専用	画面にかかわらず、ナビゲーションの音声案内だけがTVモニターのスピーカーから出力されます。	

メモ

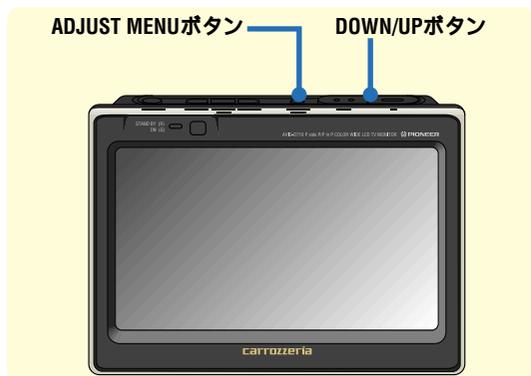
SP SELECT ボタンは、ナビゲーションを接続していないときは、TVモニターの電源ON/OFFボタンとして働きます。

TVモニターに内蔵のスピーカーから出力される音声は、常にモノラルになります。

音声をFM電波で飛ばす

FMトランスミッター設定

テレビ、ビデオの音声やナビゲーションのガイド音声をFM電波で飛ばし、その電波をFM付きカーステレオで受信して聞くことができます。



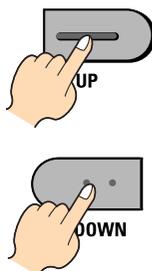
1 ADJUST MENU ボタンを押す



[FMトランスミッター]が表示されるまで、ボタンを何回か押す



2 送信周波数を選ぶ



OFF、76.0 ~ 78.4 MHzの中から0.1MHz間隔で選ぶことができます。何も操作が行われないと約3秒で自動的に表示が消えます。

FMトランスミッターを使わないときは、必ずOFFを選んでください。

FM付きカーステレオでの操作

カーステレオをFMに切り換え、受信周波数を手順2で選んだ周波数に合わせると、本機の音声が車のスピーカーから出力されます。(手順2で76.0 MHzを選んだときは、FMの周波数を76.0 MHzに合わせてください。)

FMトランスミッターから出力される音声

ナビゲーションの映像のとき、またはナビゲーション映像が操作画面になっているときには、[外部出力] (86ページ) で設定された音声が出力されます。それ以外の場合は次のようになります。

- 1画面時：表示されている画面の音声
- 2画面時：[操作画面]になっている画面の音声

メモ

FMトランスミッターを使用して、FM付きカーステレオで音声を聞いた場合、送信用アンテナの引き直し具合やラジオのアンテナによっては、ノイズが出たり、感度が落ちる場合があります。

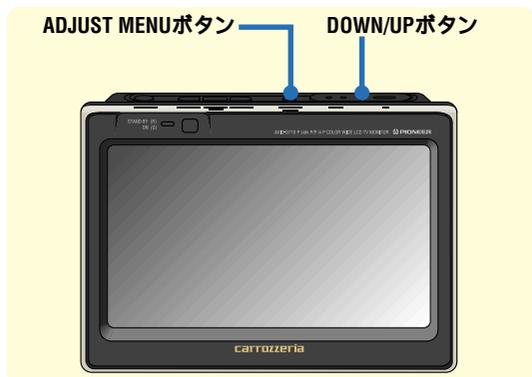
FMトランスミッターを使用したときに、他のFM放送と混信する場合は、手順2で他の送信周波数を選んでください。

FMトランスミッターの実用到達距離は約2mです。(法律により電波の強さが規制されています。)

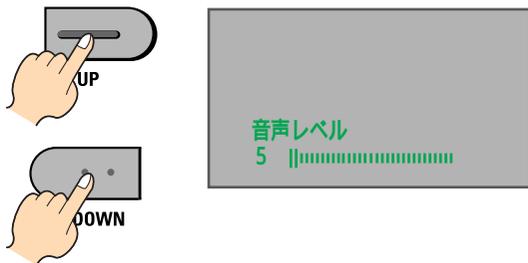
FM トランスミッターのレベルを調整する

音声レベル

カーステレオで音声を出力させたとき、通常のFM放送と音量が違う場合は、FM トランスミッターの音声レベル(送信出力レベル)を調整してください。(通常は調整しなくてもお使いいただけます。)



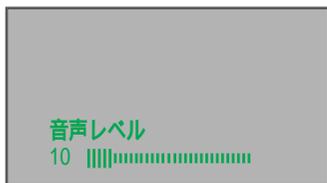
2 FM トランスミッターの音声レベルを調整する



1 [音声レベル]を表示させる



[音声レベル]が表示されるまで ADJUST MENU ボタンを何回か押す



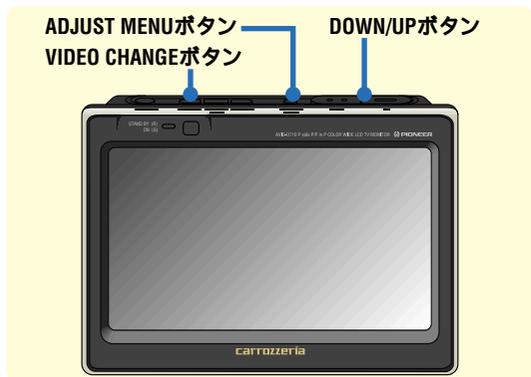
何も操作が行われないと約3秒で自動的に表示が消えます。

メモ

ここで設定したFM トランスミッターの音声レベル(送信出力レベル)が、リアモニター出力(91 ページ)の音声レベルになります。

音質を調整する

FMトランスミッターおよびリアモニター出力 (91ページ) の音質を調整することができます。



1 調整する映像を選ぶ



VIDEO CHANGE ボタンを押して調整する映像を表示させてください。

低音、高音およびバランスの調整内容はテレビ、ビデオ1、ビデオ2ごとに記憶されます。(ビデオ1およびビデオ2は[ビデオモード設定]の[ビデオ1設定]および[ビデオ2設定]を[ビデオ設定]に切り換えているときだけ選択できます。(88ページ) なお、ナビゲーションのガイド音声の音質は調整できませんので、ナビゲーションの映像にはしないでください。

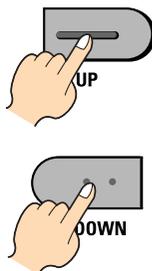
2 調整メニューを表示させる



ADJUST MENU ボタンを2秒以上長く押す



3 調整する項目を選ぶ



[低音] [高音] [バランス] または [サラウンド] を選びます。

4 ADJUST MENU ボタンを押す



メモ

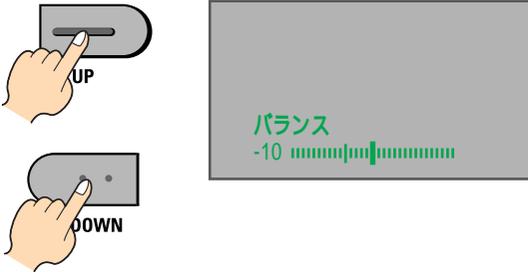
2画面モードのときには、音質調整することができません。1画面に切り換えてください。(68ページ)

調整メニューと各項目の表示は、何も操作が行われなると約10秒で自動的に消えます。

サラウンドはテレビ、ビデオ1、ビデオ2共通の設定になります。(ビデオ1およびビデオ2は[ビデオモード設定]の[ビデオ1設定]および[ビデオ2設定]を[ビデオ設定]に切り換えているときだけ選択できます。(88ページ)

ナビゲーションの映像のときでも外部出力 (86ページ) を [TV] [ビデオ1] または [ビデオ2] にしているときは、それぞれ調整された音質で出力されます。

5 調整を行う



調整項目	DOWN	UP
低音	弱まる	強まる
高音	弱まる	強まる
バランス	右(R)の音が小さくなる	左(L)の音が小さくなる
サラウンド	オン/オフ	

6 ADJUST MENU ボタンを押す



調整メニューに戻ります。手順 3 ~ 6 の操作を繰り返して他の項目を調整します。調整が終わったら [終了] を選んで ADJUST MENU ボタンを押して調整メニューを消します。

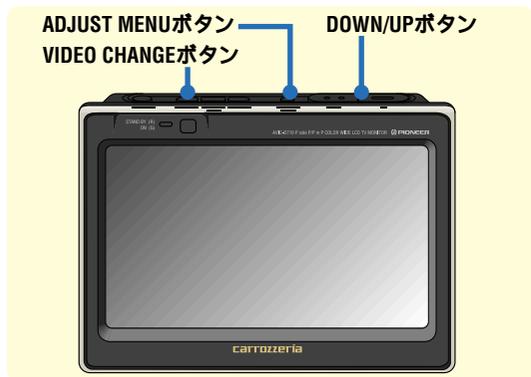
メモ

サラウンドの効果があるのは、FM トラंसミッターまたはリアモニター出力 (91 ページ) から出力されるステレオ音声だけです。この操作を行っても、TV モニター内蔵スピーカーの音質は調整されません。

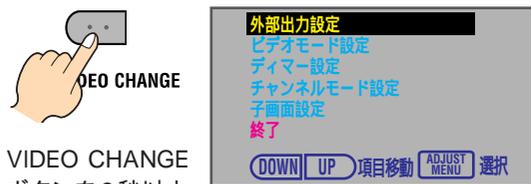
ナビゲーションの映像のときの音声を選ぶ

外部出力

ナビゲーションの映像のときに、FMトランスミッターおよびリアモニター出力からテレビやビデオの音声を出力することができます。



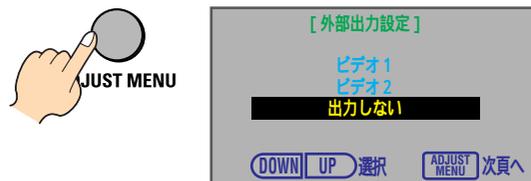
1 設定メニューを表示させる



2 [外部出力設定]を選ぶ



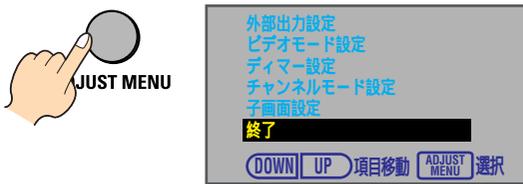
3 ADJUST MENU ボタンを押す



4 出力する音声ソースを選ぶ



5 ADJUST MENU ボタンを押す



設定メニューに戻ります。[終了]を選んでADJUST MENUボタンを押して設定メニューを消します。

メモ

[出力しない]を選ぶと、ナビゲーションの音声案内が出力されません。

ビデオ1およびビデオ2は[ビデオモード設定]の[ビデオ1設定]および[ビデオ2設定]を[ビデオ設定]に切り換えているときだけ選択できます。(参照 88ページ)

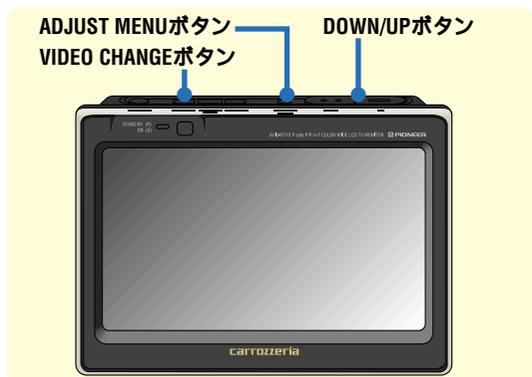
ここで選んだ音声ソースと同じソースの映像と音声が、リアモニター出力(参照 91ページ)から出力されます。

ただし、ナビゲーションの映像は出力されません。設定メニューと各項目の表示は、何も操作が行われないと約10秒で自動的に消えます。

ナビゲーションの映像の位置を調整する

RGB 画面位置調整

ナビゲーションの映像の左右の位置がずれている場合は、調整することができます。(通常は調整しなくてもお使いいただけます。)



3 ADJUST MENU ボタンを押す



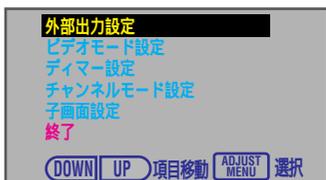
[RGB 画面位置調整] が表示されるまで、ボタンを何回か押す



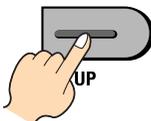
1 設定メニューを表示させる



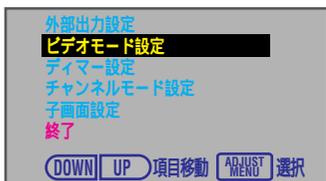
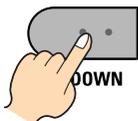
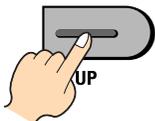
VIDEO CHANGE ボタンを2秒以上長く押す



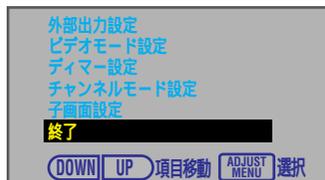
4 左右の位置を調整する



2 [ビデオモード設定] を選ぶ



5 ADJUST MENU ボタンを押す



DOWN	UP
映像が左に移動	映像が右に移動

TVモニターの設定と調整

メモ

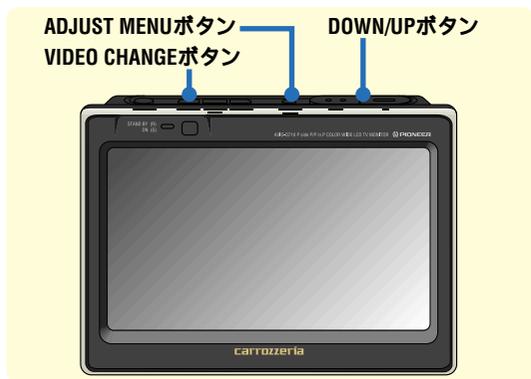
設定メニューと各項目の表示は、何も操作が行われなると、約10秒で自動的に消えます。

設定メニューに戻ります。[終了] を選んでADJUST MENU ボタンを押して設定メニューを消します。

ビデオの映像を表示可能にする

8 mmビデオやポータブルビデオを、TVチューナーのビデオ入力1に接続すると、その映像を楽しむことができます。

チェック TVチューナーにビデオを接続してください。(別冊の『取付説明書』)



3 ADJUST MENU ボタンを押す

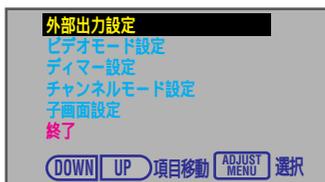


[ビデオ1設定]が表示されます。

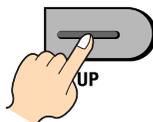
1 設定メニューを表示させる



VIDEO CHANGE ボタンを2秒以上長く押す

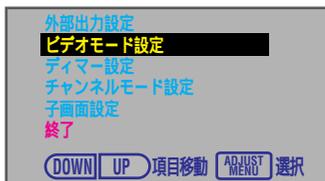
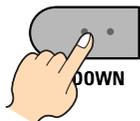


4 [ビデオ設定]を選ぶ



ビデオ入力1に接続したビデオの映像を見ることができるようになります。

2 [ビデオモード設定]を選ぶ



走行中にテレビやビデオの映像を見ることはできません。(黒一色の画面になります。)このような場合には、安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけると、テレビやビデオの映像を見ることができるようになります。

メモ

設定メニューと各項目の表示は、何も操作が行われないと約10秒で自動的に消えます。

ビデオを接続するときは、ビデオ入力1に接続してください。ビデオ入力2はオーバーレイディスクプレーヤー「CDX-R101」の音声出力(TO TV)を接続するか、将来の外部入力用にお使いください。

5 ADJUST MENU ボタンを押す



[ビデオ2設定]が表示されます。

ビデオ入力2にオーバーレイディスクプレーヤー「CDX-R101」の音声出力(TO TV)を接続しているときは、DOWN/UPボタンを押して[ビデオ設定]を選んでください。

ビデオ入力2に何も接続していないときは[設定しない]を選んでください。

[外部入力設定]は現在は使用しません。選択しないでください。

6 ADJUST MENU ボタンを押す



[RGB画面位置調整]が表示されます。(87ページ)

7 ADJUST MENU ボタンを押す



設定メニューに戻ります。[終了]を選んでADJUST MENUボタンを押して設定メニューを消します。

ビデオの映像を見る

ビデオ

映像をビデオ 1 に切り換えるとビデオの映像を見ることができます。

チェック 最初に[ビデオ 1 設定]を[ビデオ設定]にしてください。(👉 88 ページ)



1 ボタン

1 ビデオ 1 にする



ビデオ 1 になるまで、ボタンを何回か押す



テレビの映像の次に、ビデオ 1 の映像に切り換わります。

2 ビデオの電源を入れて、ビデオを再生する (👉 ビデオの説明書)

TVモニターでは、走行中にテレビやビデオの映像を見ることはできません。(黒一色の画面になります。)このような場合には、安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかける、テレビやビデオの映像を見ることができるようになります。

メモ

手順 1 の操作は、TVモニター上面のVIDEO CHANGE ボタンでもすることができます。

[ビデオモード設定]の[ビデオ 1 設定]または[ビデオ 2 設定]が[ビデオ設定]になっていると、ビデオの接続の有無や電源の入/切に関係なく、映像がビデオに切り換わります。ビデオを使用しないときは、[ビデオモード設定]の[ビデオ 1 設定]および[ビデオ 2 設定]を[設定しない]にしておいてください。(👉 88 ページ)

本機の映像をリアモニターに表示する

リアモニター

TVチューナーのリアモニター出力に、後部座席専用のモニターを接続すれば、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。(詳しい接続のしかたは  別冊の『取付説明書』)

リアモニターに出力される映像と音声について

リアモニターには、映像切り換え ( 22、68ページ) および操作画面切り換え ( 70ページ) で選んだ映像と音声が出力されます。

ただし、映像切り換えでナビゲーションの映像を選んだときは、リアモニターにはナビゲーションの映像は出力されません。

ナビゲーションの映像のときは、[外部出力設定]で選んだ音声ソースと同じソースの映像と音声が出力されます。([外部出力設定]で[出力しない]を選んだときはナビゲーションの音声案内だけが出力され、ナビゲーションの映像は出力されません。)( 86ページ)

リアモニターでは、2画面 ( 68ページ) で見ることはできません。2画面のときは、操作画面 ( 70ページ) になっている方の映像と音声リアモニターに出力されます。

リアモニターには、チャンネルなどの情報や設定メニューは表示されません。

リアモニターには、パーキングブレーキのON/OFFに関係なく映像が表示されますので、走行中でもテレビやビデオの映像を見ることができます。

安全走行のために

リアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができる位置には、絶対に設置しないでください。

メモ

リアモニターには、ナビゲーションの映像は出力されません。リアモニターにナビゲーションの映像を出すためには、ナビゲーション本体のRCAビデオ出力とTVチューナーのビデオ入力1またはビデオ入力2を市販のRCAコードで接続して ( 『取付説明書』) [ビデオモード設定]の[ビデオ1設定]または[ビデオ2設定]を[ビデオ設定]にする必要があります。

( 88ページ)

現在地がわかる仕組み

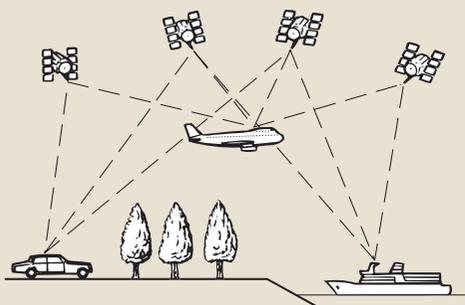
本機では、現在地を測位する方法として「GPS」に加え、「自律航法」による測位が可能です。

「GPS」による測位について

GPS とは？

GPS衛星（人工衛星）から位置測定用の電波を受信して、現在地を測位するシステムです。

GPS衛星は、地球の周り高度21,000 kmに打ち上げられています。3つ以上のGPS衛星の電波を受信すると、測位が可能になります。



GPS による測位の種類

GPSによる測位には、3次元測位と2次元測位があります。

3次元測位

GPS衛星の電波を良い状態で受信できたときは、緯度・経度・高度の3次元で測位できます。

2次元測位

GPS衛星の電波を受信できても、受信状態があまり良くないときは、緯度・経度の2次元で測位します。高度は測位できないため、3次元測位の時よりも測位の誤差がやや大きくなります。

メモ

GPSは、Global Positioning System（グローバルポジショニングシステム）の略です。

「自律航法」による測位について

自律航法とは？

一度GPSにより現在地を測位しておき、あとは、内蔵の3Dハイブリッドセンサーで車の動きを調べて、現在地を追いかけていく測位方法です。

3Dハイブリッドセンサーでは、走った距離を車の車速パルスから、曲がった方向を振動ジャイロセンサーで、路面の傾斜を傾斜計（Gセンサー）で、それぞれ検出して、現在地を割り出しています。

GPSと自律航法を組み合わせたときの特長

GPSによる現在地のデータと、自律航法による現在地のデータを常に組み合わせているので、より精度の高い測位を行うことができます。

GPS衛星の電波が受信できなくなっても、自律航法により測位を続けることができます。

自律航法による測位だけでは、現在地の表示が徐々にずれてくることがあります。GPSと自律航法を組み合わせると、GPS測位により自律航法のずれを修正することができるため、測位精度が高くなります。

測位の精度を高めるために

3Dハイブリッドセンサーの機能について

内蔵の3Dハイブリッドセンサーは、自律航法自体の測位精度を高めるために、次のような機能を内蔵しています。

高精度3Dハイブリッドシステム

車から車速パルスを取っている場合には、高度差まで測位する3Dハイブリッドセンサーをフルに活用した、高精度3Dハイブリッドシステムにより、高精度な測位が可能になります。

また、車速パルスが取れない外国車やディーゼル車などは、車速パルス発生機「ND-PG1」(別売)を組み合わせることで、3Dハイブリッドシステムが可能になります。(車種によっては、「ND-PG1」が取り付けられない場合もあります。)

簡易ハイブリッドシステム

車速パルスを取っていない場合には、簡易ハイブリッドシステムでの測位となります。車速パルスが入力されないので、傾斜計(Gセンサー)が車速パルスの代わりに車の移動距離を測定します。簡易ハイブリッドシステムでは、従来通りの水平方向のみの角度検出を行うハイブリッド測位となり、精度も低くなります。長いトンネルに入った場合などは、誤差が大きくなったり測位できなくなることがあります。

立体交差や坂道でも高精度で測位できます

従来の平面的な測位の場合、立体交差や上下に高速道路と一般道がある場所では、側道と本道、あるいは高速と一般道のどちらにしているかの判断ができないことがありました。

3Dハイブリッドセンサーでは坂道の上り下りも測位できるため、長い坂道や立体交差など測位の難しい場所でも高精度に測位することができます。

ワインディングや坂道で生じる距離誤差も修正します

山道や坂道を走行している場合、実際に走った距離と地図上の移動距離には誤差が生じます。このため、従来は自転車位置の先走りといったことが起きる場合がありました。

3Dハイブリッドセンサーは測位した高度差からその誤差を修正して高精度な測位を可能にしています。

誤差の学習や補正を行います

3Dハイブリッドセンサーは、自分で計算した現在地とGPS測位による現在地を常に比較し、発生した誤差を学習しています。

学習内容に応じて、さまざまな要因によって生じる誤差を補正しています。

走行を重ねるにつれて学習内容が増えますので、徐々に測位の精度が高くなっていきます。

誤差が大きいときは自動的に学習を中断します

チェーンを装着したり、応急用タイヤで走行すると、タイヤの外周が変わるため誤差が大きくなります。この大きな誤差を学習すると、学習内容が悪くなってしまうため、大きな誤差が発生したときは学習を自動的に中断します。

2種類のタイヤを別々に学習できます

夏用タイヤと冬用タイヤなど、サイズの違う2種類のタイヤを、それぞれ別々に学習・補正することができます。

(詳しくは  『使い方辞典 - リモコン操作編』138、146ページ)

学習・補正効果を高めるために

GPS衛星の電波が受信できないときは、学習や補正は行われません。このため、GPSによる測位時間が短い間は、自転車マークと実際の現在地が大きくずれることがあります。GPS受信状態で約1時間程度走行すると、かなり精度が高くなります。

測位の精度を高めるために(つづき)

「ディファレンシャルGPS (D-GPS)」について



ディファレンシャルGPS (D-GPS)とは?

GPS衛星は米国国防総省の管理下にあるため、衛星からの電波には軍事的理由により、あらかじめ誤差が含まれています。その誤差はリアルタイムで変化しており、GPS衛星からの電波だけで測位している場合には、この誤差により測位精度が低下します。

そこでGPS衛星からの電波を日本各地の施設で受信し、その施設の位置とGPS衛星からの位置情報を比較し、誤差を確認して、その情報をFM多重電波で放送するしくみがディファレンシャルGPS (D-GPS) システムです。

内蔵のFM多重チューナーでD-GPSの情報を受信します

本機に内蔵のFM多重チューナー (VICsと切り換え) 『使い方辞典 - リモコン操作編』137ページ) で、5秒ごとに更新されるD-GPSの情報を受信します。この情報は、リアルタイムでGPS測位に反映されます。このシステムは全国サービス (沖縄を除く) で行われるので、エリア内ならどこでも高精度な測位が実現できます。

情報は全国JFN系列の放送局から発信しています

D-GPSの情報は、沖縄を除く全国のJFN系列のFM放送局他からFM多重電波を通じて放送されています。

D-GPS情報放送局 (1997年9月現在)
 FM北海道、FM青森、FM岩手、FM仙台、FM秋田、FM山形、ふくしまFM、FMぐんま、FM栃木、TOKYO FM、FM新潟、FM長野、静岡FM放送、FMとやま、FM石川、FM福井、FM AICHI、FM三重、FM滋賀、fm osaka、kiss-FM KOBE、FM山陰、広島FM放送、FM山口、FM香川、FM愛媛、FM徳島、FM高知、FM佐賀、FM福岡、FM長崎、FM中九州、FM大分、FM宮崎、FM鹿児島 (全国35局)

メモ

一部地域については、カバーされていない場合があります。(順次対応予定)

FM放送局が休止している時間帯はD-GPSはできません。

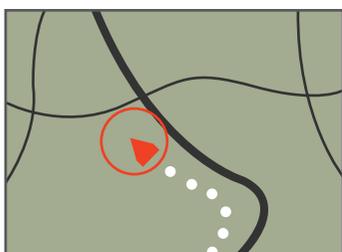
D-GPSの放送局は、自動的に選択されます。

「マップマッチング」について

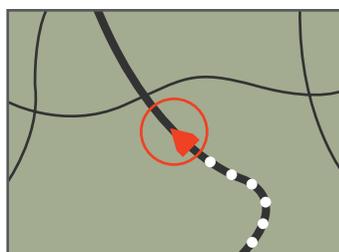
マップマッチングとは？

GPSや自律航法による測位には誤差が生じることがあるため、現在地が道路以外（例えば川の中）になることがあります。このようなとき、「車は道路上を走るもの」と考え、現在地を近くの道路上に修正する機能がマップマッチングです。

マップマッチングしていないとき



マップマッチングしているとき



本機では、GPSと自律航法で精度の高い測位をした上でマップマッチングが働くため、さらに正確な現在地表示が可能になります。

誤差について

GPSや自律航法、マップマッチングの組み合わせにより、誤差をより小さくすることができますが、状況によってはこれらの機能が正しく動作せず、誤差が大きくなる場合があります。

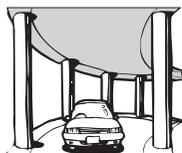
GPSによる測位ができない場合があります

2つ以下のGPS衛星の電波しか受信できないときは、GPSによる測位できないことがあります。

次のような場所にいるときは、GPS衛星の電波がさえぎられ、受信できないため、GPSによる測位ができないことがあります。



トンネルの中や
ビルの駐車場



2層構造の高速道路
の下



高層ビルの群集地帯



密集した樹木の間

次のようなときは、電波障害の影響で、一時的にGPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。

- * 車載のテレビで56チャンネル(UHF)を受信しているとき。
- * GPSアンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っているとき。

GPS アンテナに関するご注意

GPSアンテナにベンキや車のワックスを塗らないでください。感度が低下したり、電波を受信できなくなることがあります。また、雪がつもると感度が低下しますので取り除いてください。



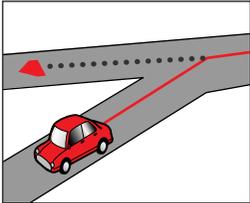
GPS 衛星自体による誤差について

GPS衛星は米国国防総省によって管理されており、衛星自体が意図的にずれた位置データを送信することがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。

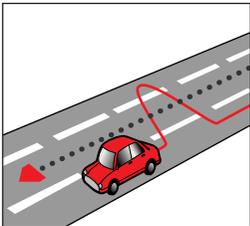
3次元測位のときは、約30 m ~ 200 mの誤差で自車の現在地を測位します。2次元測位のときは、3次元測位のときよりも誤差がやや大きくなります。

その他の誤差について

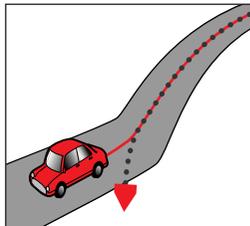
角度の小さなY字路を走ったとき。



蛇行運転をしたとき。



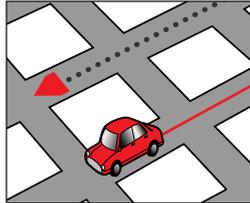
直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後。



砂利道や雪道などで、タイヤがスリップしたとき。



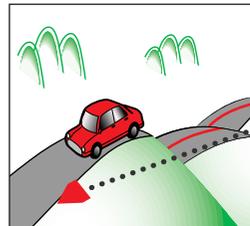
碁盤の目状の道路を走ったとき。



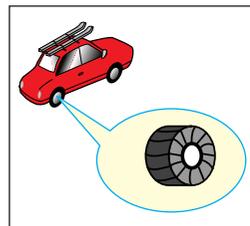
ヘアピンカーブが続いたとき。



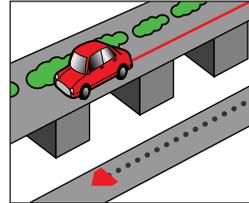
勾配の急な山道など、高低差のある道を走ったとき。



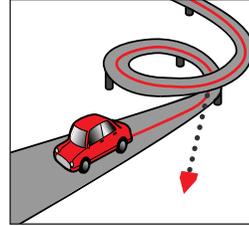
チェーンを装着したときや、サイズの違うタイヤに交換したとき。



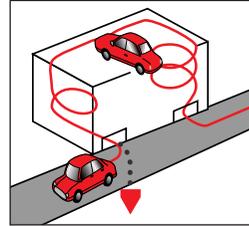
道路が近接しているとき (高速道路と側道など)。



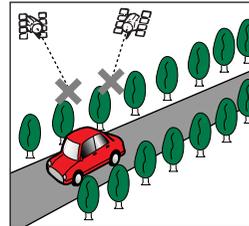
ループ橋などを通ったとき。



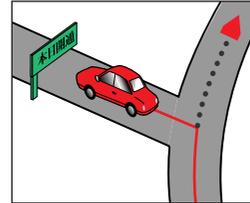
立体駐車場などで旋回や切り返しを繰り返したとき。



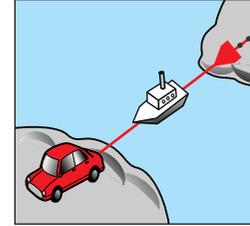
GPSによる測位ができない状態が長く続いたとき。



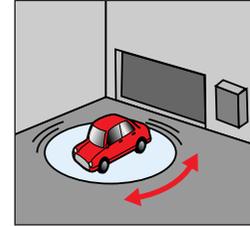
地図情報にはない新設道路を走ったとき。



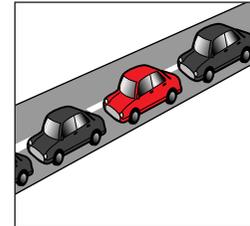
フェリーや車両運搬車で移動したとき。



駐車場などで、ターンテーブルでの旋回を行ったとき。



渋滞などで低速で発進や停止を繰り返したとき。



メモ

サイズの違う2種類のタイヤを、それぞれ別々に学習・補正できます。この機能によりチェーンを装着したり、冬用タイヤに交換したときの誤差を、より小さくできます。(詳しくは『使い方辞典 - リモコン操作編』138、146ページ)

VICS について



VICSを利用すると、ナビゲーションの画面上で「渋滞している道」を確認できるため、“渋滞の手前で空いている道に入り、快適にドライブする”ということができます。

VICS とは

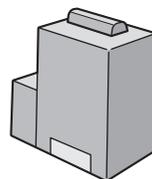
1996年春、首都圏からサービスが開始された、最新の交通情報を車のドライバーに伝えるための通信システムです。

VICS情報を受信すると、渋滞や事故、交通規制などの最新情報をナビゲーションの地図上に表示できます。また、簡単な地図イラストや文字で見することもできます。

VICS 情報の提供方法

道路・交通に関するさまざまな情報は、一度VICSセンターに集められます。その後、次の3つの方法で、最新の道路交通情報(VICS情報)が提供されます。

VICSセンター

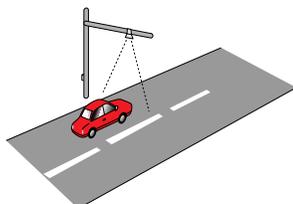


電波ビーコン(主に高速道路)



電波を使ったビーコンで情報が提供されます。

光ビーコン(主に一般道)



赤外線を使ったビーコンで情報が提供されます。

FM多重放送



FM多重放送の電波で情報が提供されます。広い地域をカバーできます。

ビーコンは、道路脇に一定間隔で設置された、VICSの情報を送信する装置です。設置された場所周辺の交通情報がここから送信されます。VICS用ビーコン受信機「ND-B2」(別売)で、ビーコンによるVICS情報を受信できます。

本機に内蔵のVICS/FM多重チューナーで、FM多重放送によるVICS情報を受信できます。

メモ

VICSは、Vehicle Information & Communication System (ビークル・インフォメーション・アンド・コミュニケーション・システム)の略です。

VICS 情報の表示形態



VICS 情報には、レベル 1 からレベル 3 までの 3 種類の表示形態があり、ドライバーは VICS によりリアルタイムで提供される道路交通情報を活用することができます。

VICS 情報の内容

渋滞情報（順調情報も含む） 旅行時間情報 交通障害情報
交通規制情報 駐車場情報

レベル 3 : 地図



ナビゲーションの地図上に、直接、道路交通情報を表示します。

レベル 2 : 簡易図形



簡単な地図イラストなどで、道路交通情報を表示します。

レベル 1 : 文字



文字により、道路交通情報を表示します。

本機での VICS 情報の表示例

本機では、内蔵の VICS/FM 多重チューナーで受信した VICS 情報をナビゲーションの地図上に表示します。

表示例（レベル 3 : 地図）



ディスクの正しい使いかた

使用できるディスク

本機では、専用のDVD-ROMのみが使用できます。

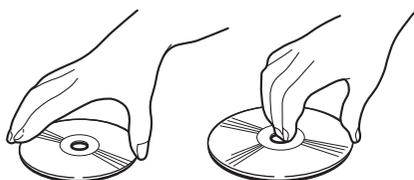
音楽CDや一般のDVD-ROMおよび映像用DVDは使用できません。

ひび、キズ、そりのあるディスクは使用しないでください。



取り扱い上のご注意

ディスクは、下図のように、記録面（虹色に光っている面）をさわらないように持ってください。



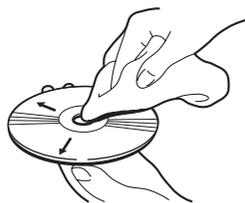
ディスクにキズを付けしないでください。

ディスクに紙やシールなどを貼り付けしないでください。

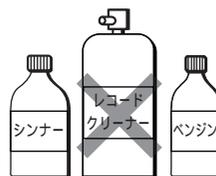


お手入れについて

ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布で、ディスクの内側から外側へ軽く拭いてください。



ディスクに、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。また、ディスクには、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。



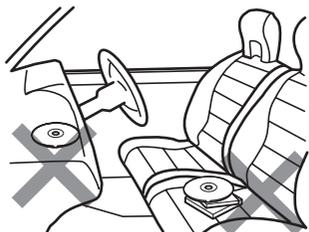
当社では、ディスクのクリーニングキット「JV-D11」を別売しています。カーステレオ販売店でお買い求めください。

メモ

製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

保管上のご注意

ディスクは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。



ディスクがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

ディスク再生の環境について

走行中、振動のショックでディスクのデータを正確に読み取れないことがあります。(画面の表示切り換えが遅くなってしまうことがあります。)

寒いとき、ヒーターを入れた直後にディスク再生を始めると、本機内部の光学系レンズやディスクにつゆが付いて、正常な再生ができないことがあります。

このようなときは、1時間ほど放置して自然につゆがとれるのをお待ちください。ディスクに付いたつゆは柔らかい布でふいてください。高温になると、保護機能が働き、ナビゲーションの動作が停止します。

TV モニターの正しい使いかた

取り扱い上のご注意

TV モニターに直射日光が当たる状態で長時間放置しておくと、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。本機を使用していないときは、TV モニターに直射日光が当たらないようにしてください。

TV モニターは次の温度範囲内でお使いください。

使用温度範囲： - 10度 ~ + 50度

保存温度範囲： - 20度 ~ + 80度

TV モニターの液晶画面は、車内での視認性向上のためにむき出しになっています。故障する恐れがありますので、液晶画面を強く押さないでください。

キズや汚れの原因になりますので、液晶画面は触らないでください。

液晶画面について

モニター画面の中に小さな黒い点や明るく光る点（輝点）が出る場合があります。これは液晶モニター特有の現象で故障ではありません。

寒いところでお使いになるときは、電源を入れた後、しばらく画面が暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。

モニター画面に直射日光が当たると、光が反射し映像が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

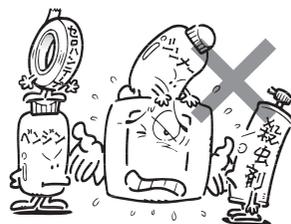
お手入れについて

画面に付いたホコリやモニターの汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかい布で拭きしてください。

画面を拭くときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。

化学ぞうきんをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。

ぬれたぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。



小型蛍光管について

液晶画面を光らせるために、モニター内部に小型蛍光管を使用しています。

蛍光管は約1万時間お使いになると寿命になります。（寒いところでお使いになると、寿命が短くなることがあります。）

蛍光管が寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

ナビゲーション本体のリセットについて

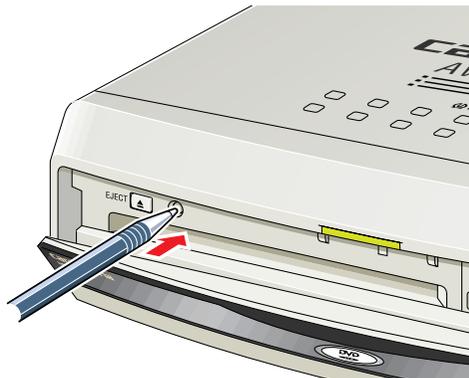
リセットボタンについて

リセットボタンは、ナビゲーション本体のマイコンをリセットするボタンです。次のようなときに、リセットボタンを押してください。

接続が終わった後。(☞ 『取付説明書』)
本機が正しく動作しないとき。
画面が正しく表示されないとき。

リセットボタンの押しかた

ボールペンの先などで、リセットボタンを押します。



保証書発行兼お客様登録カードと

保証書発行兼お客様登録カード

保証書発行兼お客様登録カードは、お買上げ年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

この製品は、より確実にお客様をサポートさせていただくために「保証書発行兼お客様登録カード」のご返送による、お客様の登録と保証書の発行を実施させていただいております。お手数ですが、住所、お名前、電話番号および必要事項をご記入のうえ、保証書発行兼お客様登録カード③を必ず弊社までご返送くださるようお願いいたします。記入の住所、お名前に郵送いたしますので、正確に記入してください。お客様登録手続き完了後、保証書を郵送にてお届けいたします。（ご返送いただけない場合はお客様の登録ができないため保証書の発行ができません。）送られてきた保証書は記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

なお、保証書発行兼お客様登録カードお客様控②は、お客様登録手続き中の証明となるものですので、保証書をお届けするまでの間、大切に保管してください。

この製品の保証期間は、お買上げの日より1年間です。

保証期間

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、右ページの当社無料修理規定に基づき修理いたします。お買上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

保証期間経過後の修理について

お買上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ご質問、ご相談は

本機、または保証書発行兼お客様登録カードに関するご質問、ご相談はパイオニアお客様相談センター、または最寄りのパイオニアインフォメーションセンター（I・C）をご利用ください。

お願い

より確実にお客様をサポートさせていただくために、ご転居、住所の変更等、ご登録内容に変更が生じましたら、お手数ですがパイオニアお客様相談センターへご連絡下さるようお願いいたします。

お客様相談センター：03-3491-8181

アフターサービス

無料修理規定

1. 保証期間はご購入日より1年間です。
2. 本取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意にしたがった使用状態で故障した場合には、ご購入の販売店またはバイオニアサービスステーションが無料修理いたします。
3. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には商品と保証書をご持参ご提示のうえ、ご購入の販売店または別紙「ご相談窓口・修理窓口のご案内」のバイオニアサービスステーションにご依頼ください。
4. ご転居、ご贈答品等で保証書または保証書発行兼お客様登録カードに記入してあるご購入の販売店に修理をご依頼できない場合には、別紙「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧くださいのうえ、お近くのバイオニアサービスステーションへご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障および損傷。
 - ご購入後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛け等による故障および損傷。
 - 業務用の長時間使用、船舶への搭載等、通常以外のご使用をされた場合の故障および損傷。
 - 消耗品（各部ゴム、電池等）の交換
 - 未登録のお客様で保証書発行兼お客様登録カードのご提示がない場合。
 - 保証書の文字を書きかえられた場合。
 - 保証書発行兼お客様登録カードにご購入年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合。
 - 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合。
6. 保証書およびこの無料修理規定は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.
7. 保証書および保証書発行兼お客様登録カードは再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
 - * 保証書は、保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって保証書およびこの無料修理規定によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合は、ご購入の販売店または別紙「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧くださいのうえ、バイオニアお客様相談センター、またはお近くのバイオニアインフォメーションセンター（I・C）にお問合わせください。
 - * また、保証期間中に保証書を紛失した場合でもご登録いただいておりますと、確認に多少お時間をいただく場合がございますが、当社無料修理規定に基づき修理いたします。

ナビゲーション用語の解説

 のページにも関連する説明があります。

測位

「自分が今どこにいるのか？」を調べることを測位といいます。本機は、GPSや内蔵の3Dハイブリッドセンサーを使用して自車の現在地を測位し、その結果を地図上に表示しています。

現在地・自車位置

自分の車(自車)の現在地のことです。現在地を知りたいときは、現在地ボタンを押してください。画面の中央付近に自車マーク▲が表示されます。

グローバルポジショニングシステム
GPS (Global Positioning System)

( 92ページ)

現在地を測位するための中心的な方法です。3つ以上のGPS衛星(人工衛星)から電波を受信して、現在地を測位します。ただし、トンネルの中やビル影の陰など、GPS衛星の電波を受信できない場所では測位ができません。

3次元測位・2次元測位 (92ページ)

GPSによる測位の状態を表します。GPS衛星の電波の受信状態が良いときは3次元測位になり、現在地の緯度・経度と高度がわかります。受信状態があまり良くないときは2次元測位になり、緯度・経度がわかります。高度はわからないため、3次元測位よりも誤差がやや大きくなります。

自律航法 (92ページ)

現在地を測位する方法のひとつです。内蔵の3Dハイブリッドセンサーで、車がどの方向にどのくらいの距離をどのくらいの高さまで走ったか調べて、現在地を割り出します。自律航法では、GPS衛星の電波を受信できないときでも、現在地を測位することができます。

3Dハイブリッドセンサー (93ページ)

車の走った距離と曲がった方向、傾斜を調べるためのセンサーです。走った距離を車の車速パルスから、曲がった方向を振動ジャイロセンサーで、傾斜を傾斜計(Gセンサー)で検出しています。本機の取り付け完了後や設置場所の変更後、タイヤのサイズを変更した後は、必ず接続状態の確認をして、3Dハイブリッドセンサーのリセット操作を行ってください。

車速パルス

車の走った距離を計算するために必要な信号です。車のコンピューターから出力されており、この車速パルスにある係数をかけると、車の走った距離が算出されます。

3Dハイブリッドセンサーの学習・補正機能

( 93ページ)

内蔵の3Dハイブリッドセンサーは、過去に発生した誤差を学習しており、学習内容に応じて、車の走った距離と曲がった方向、高度を補正しています。このため、走行を重ねるにつれて学習内容が増え、測位の精度が高くなります。

マップマッチング (95ページ)

誤差のため、自車マークが実際に走っている道路からずれて表示されたときに、そのずれを補正して、自車マークを道路上に合わせる機能です。

ビークルインフォメーションアンド
VICS (Vehicle Information &
コミュニケーションシステム)
Communication System) ( 98ページ)

1996年春、首都圏からサービスが開始された、道路交通情報通信システムです。最新の交通情報は、FM多重放送の電波や、道路脇に設置された「ビーコン」という装置から送信されます。この電波を本機や専用受信機(別売)で受信すると、ナビゲーションの画面上で最新の交通情報を見ることができます。内蔵のVICS/FM多重チューナーでは、FM多重放送によるVICS情報を受信できます。また、当社ではビーコンによるVICS情報を受信できる「ND-B2」を別売しています。

マルチビュー (33ページ)

DVDナビゲーションでの、地図の表示方法の総称です。「ノーマルビュー」「スカイビュー」「ナイアガラビュー」「ツインビュー」「ハイウェイモード」「ハイウェイマップ」の6種類があります。方角はもちろん、地図を見る視点をさまざまな角度に変えられます(ハイウェイモードを除く)。

オーバーレイディスク

オーバーレイディスクプレーヤー「CDX-R101」(別売)に使用できるCD-ROMのことです。(DVDナビゲーション本体では、専用のDVD-ROM以外は使用できません。)用途に応じて各種オーバーレイディスクが別売されています。

仕様

ナビゲーション本体 (GPS 部)

方式	: L1、C/AコードGPS SPSスタンダード・ポジショニング・サービス
受信方式	: 8チャンネルマルチチャンネル 受信方式
受信周波数	: 1,575.42 MHz
感度	: - 130 dBm
測位更新時間	: 約1回/1秒

ナビゲーション本体 (共通部)

映像出力レベル	: 1 V p-p、75 不平衡、同期負
最大消費電流	: 2.0 A
使用電源	: DC 14.4 V (10.8 ~ 15.1 V使用可能)
アース方式	: マイナスアース方式

TV (共通部)

使用電源	: DC 14.4 V (10.8 ~ 15.1 V使用可能)
アース方式	: マイナスアース方式
最大消費電流	: 1.6 A

TV モニター

画面サイズ	: 7インチワイド (有効表示面積: 87 × 156 mm)
画素数	: 336,960画素 (234 × 1,440)
方式	: TFTアクティブマトリクス方式、 透過型
エッジライト	: 冷陰極コの字管
使用温度範囲	: - 10 ~ + 50
保存温度範囲	: - 20 ~ + 80
内蔵スピーカー	: 40 mm

TV チューナー

受信チャンネル	: VHF1 ~ 12ch UHF13 ~ 62ch
実用感度	: 20 dBf (75 、モノラル音声)
映像 S/N	: 40 dB以上 (65 dBf 映像入力、 白 100 %)
映像雑音制限感度	: 51 dBf
クロストーク	: 主 副 35 dB以上 副 主 40 dB以上
S/N	: 57 dB (IHF-Aネットワーク)
ステレオ	
セパレーション	: 30 dB (1 kHz)
外部映像	
入力レベル	: 1 V p-p/75
外部音声	
最大入力レベル	: 0.5 V/47 k
映像出力	
インピーダンス	: 1 V p-p/75
外部音声	
最大出力レベル	: 0.5 V/0.2 k
アンテナ入力	: 4chダイバシティ
FM トランスミッター	
ター使用周波数	: 76.0 ~ 78.4 MHz (0.1 MHz間隔で可変)

GPS アンテナ

アンテナ	: マイクロストリップ平面アンテナ/ 右円偏波
------	----------------------------

TV アンテナ

出力端子	: 3.5ミニプラグ × 4
アンテナ	
ケーブル長	: 6.5 m

外形寸法

ナビゲーション	
本体	: 277(W) × 75(H) × 234.7(D) mm
TVモニター	: 181(W) × 130.5(H) × 35.4(D) mm
TVチューナー	: 196(W) × 38(H) × 140(D) mm
GPSアンテナ	: 51(W) × 53(H) × 15(D) mm
TVアンテナ	: 34(W) × 227(H) × 44(D) mm (収納時、アンテナベース含まず)
リモコン	: 40(W) × 140.5(H) × 38.5(D) mm

質量

ナビゲーション	
本体	: 3.4 kg
TVモニター	: 610 g
TVチューナー	: 930 g
GPSアンテナ	: 130 g
TVアンテナ	: 300 g (コード含む、片側)
リモコン	: 90 g (電池含む)

付属品

DVD-ROMディスク	: 1
リモコン	: 1
単4形アルカリ乾電池 (LR03)	: 2
コード類	: 1式
取付キット	: 1式
取扱説明書	: 1
使い方辞典 - リモコン操作編	: 1
ワンポイントガイド	: 1
取付説明書	: 1
安全上のご注意	: 1
保証書発行兼 お客様登録カード	: 1
ご相談窓口・修理窓口の ご案内	: 1
VICSサービス契約約款	: 1

メモ

上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書中のイラストと実物が、一部異なることがあります。

本機は日本国内専用です。GPSの測位範囲が異なる外国ではご使用いただけません。

テレビの受信状態がよくないチャンネル（電波の弱いチャンネル）は、GPSの影響で、画面にはん点や色模様などのノイズが出る場合があります。

索引

あ行

行き先	
決める	: 42
映像	
色あい	: 78
色の濃さ	: 78
映像切り換え	: 22
黒レベル	: 78
コントラスト	: 78
リアーモニターの映像	: 91
RGB画面位置調整	: 87
液晶画面	
ジャスト	: 67
ズーム	: 67
ディマー設定	: 74、76
ノーマル	: 67
フル	: 67
ワイドモード	: 66
オーバーレイディスク	
セットする	: 20
音楽CD	
再生する	: 62
セットする	: 20
選曲	: 63
タイトルリスト	: 64
ディスクサーチ	: 62
音質	
高音	: 84
サラウンド	: 84
低音	: 84
バランス	: 84
音声	
音声案内	: 48

か行

画面	
インターチェンジなどの航空 写真・イラスト表示	: 45
オープニング画面	: 18
現在地画面	: 28、30、44
交差点拡大図	: 44、46
スクロール画面	: 29、30
昼画面/夜画面	: 10
メニュー画面	: 38、40
現在地	
現在地がわかる仕組み	: 92
表示する	: 28
誤差	
誤差について	: 96

さ行

自宅	
登録する	: 52
戻る	: 54
ワンタッチ自宅ルート 探索	: 54
自律航法	
自律航法の概要	: 92
スピーカ	
音量調整	: 16
スピーカ出力設定	: 80

た行

地図	
動かす	: 29、50
縮尺を変える	: 31
地図表示の見かた	: 30、44
表示方法を変える	: 32
地点登録	
自宅を登録する	: 52
ディスク	
お手入れ	: 100
セットする	: 18、20
取り扱い	: 100
テレビ	
オートプリセット	: 57
音声切換	: 60
自動選局	: 57
手動選局	: 58
チューニング	: 58
プリセット選局	: 57
見る	: 56
電源	
入れる	: 18

な行

ナビゲーション	
外部出力	: 86
使う	: 28
初めて使う	: 24
RGB画面位置調整	: 87

は行

ハイウェイモード	
施設情報を見る	: 36
ハイウェイモード にする	: 32
ビデオ	
ビデオモード設定	: 88
見る	: 90

ま行

マップマッチング	
マップマッチングの概要	: 95
マルチビュー	
回転させる	: 34
スカイビュー	: 33
選択する	: 32
ツインビュー	: 33
ニアガラビュー	: 33
ノーマルビュー	: 33
ハイウェイマップ	: 33
ハイウェイモード	: 33
メニュー	
選びかた	: 38
メニューの種類	: 40

ら行

リセット	
ナビゲーション本体	: 103
3Dハイブリッドセンサー	: 24
リモコン	
電池を入れる	: 12
ボタンの説明	: 13、14、16
リモコン受光部	: 15
ルート	
迂回路探索	: 51
オートリルート	: 45
音声案内	: 48
自宅ルート探索	: 54
設定する	: 42
外れたとき	: 45
道順を確認する	: 50
リアルタイムリルート	: 45
ルート案内	: 44
ルートインフォメーション表示	: 46
ルートスクロール	: 50
ルート探索	: 42
ルートの概要	: 41

アルファベット

FMトランスミッター	
音声レベル	: 83
FMトランスミッター設定	: 82
GPS	
ディファレンシャルGPS (D-GPS)	: 94
GPSの概要	: 92
GPSの誤差	: 96
TVチューナー	
各部の説明	: 14
TVモニター	
お手入れ	: 102
各部の説明	: 15
小型蛍光管	: 102
取り扱い	: 102
VICS	
VICSの概要	: 98

数字

2画面	
映像の縮小のしかた	: 71
子画面の位置	: 72
子画面のサイズ	: 73
操作画面	: 70
ピクチャー イン ピクチャー	: 68
ピクチャー サイドピクチャー	: 68
モード切り換え	: 68
3Dハイブリッドセンサー	
学習・補正機能	: 93
リセット	: 24



エコマーク認定の再生紙を
使用しています。



お客様ご相談窓口 (修理に関しては別添『ご相談窓口・修理窓口のご案内』参照)

お客様相談センター TEL 03-3491-8181

技術相談窓口	札幌	TEL 011-644-4779	大阪	TEL 06-353-3705
	仙台	TEL 022-375-4417	広島	TEL 082-228-2239
	名古屋	TEL 052-532-1141	福岡	TEL 092-441-8076

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

©パイオニア株式会社 1998
<98D00F0R01> <CRA2576-A>